Network Video Recorder

Quick Start Guide

ユーザー名:admin

パスワード;admin1111

V1.0.0

— 目次 —

1. 本手順書に関して 3
2. 画面操作の基本 4
2.1. マウス操作 4
2.2. ソフトウェアーキーボード操作 4
3. ログイン 5
3.1. ログアウト状態確認 5
3.2. システムログイン 5
4. ライブ映像確認 7
4.1. 表示画面説明 7
4.2. デジタルズーム 8
4.3. PTZ 操作 8
4.4. 表示画面切り替え 9
5. 記録映像検索・再生 11
5.1. 記録映像検索 11
5.2. 再生画面操作 13
5.3. 再生日時変更 15
5.4. 検索モード終了 15
6. 記録データバックアップ 16
6.1. バックアップ画面表示 16
6.2. バックアップデバイスの確認 17
6.3. バックアップの設定 17
7. ログアウト 20
8. 補足 21
8.1. 日付時刻の修正方法 21
8.2. メインメニュー簡易用語説明 23
8.3. 右クリックメニュー簡易用語説明 24
8.4. プレビュー制御インターフェース簡易用語説明 24

MDI MITSUBOSHI DIAMOND INDUSTRIAL CO., LTD.

1. 本手順書に関して

- 本手順書は、Dahua 社製レコーダを、簡単に使用して頂くため、「ライブ映像確認」、「記録映像検索／視聴」、「記録映像バックアップ」の、3 機能に絞り説明しています。
- 本手順書では 16ch 入力の機器を用いて説明しています。
- ご使用の機器によっては、本手順書と一部異なる画面になる場合があります。

MDI MITSUBOSHI DIAMOND INDUSTRIAL CO., LTD.

2. 画面操作の基本

Dahua 製品は、キーボードを使用せずに、マウスだけで操作を行います。
キーボード操作が必要な場合には ソフトウェアーキーボードを使用します。
本章ではマウスの基本操作とソフトウェアーキーボードの使用方法に関して簡単に説明します。

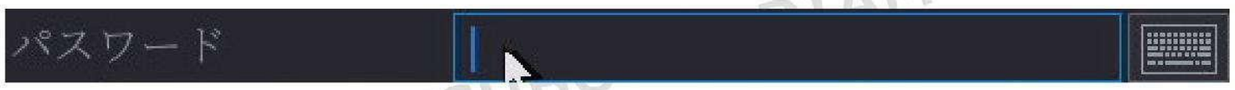
2.1. マウス操作

・基本の操作は下記の通りです。

左クリック	選択、決定
右クリック	キャンセル

2.2. ソフトウェアーキーボード操作

1） パスワードなど文字入力が必要な場合



入力欄にマウスポインターを置き、左クリックするとソフトウェアーキーボードが表示されます。

は“スペース”、 は、“1 文字消去” です。

『Shift』をクリックすると、大文字入力用に変更できます。

2） マウスで文字及び数字を左クリックし文字列を入力し、
最後に『Enter』をクリックし、入力を確定させます。

3） 時間や年など数字のみの入力が必要な場合は

入力欄にマウスポインターを置くと
テンキーだけのソフトウェアーキーボードが表示されます。

4） テンキーソフトウェアーキーボードは Enter キーがないので
入力終了後、入力欄にマウスポインターを置き、左クリックで入力を確定させます。

MDI MITSUBOSHI DIAMOND INDUSTRIAL CO., LTD.

3. ログイン

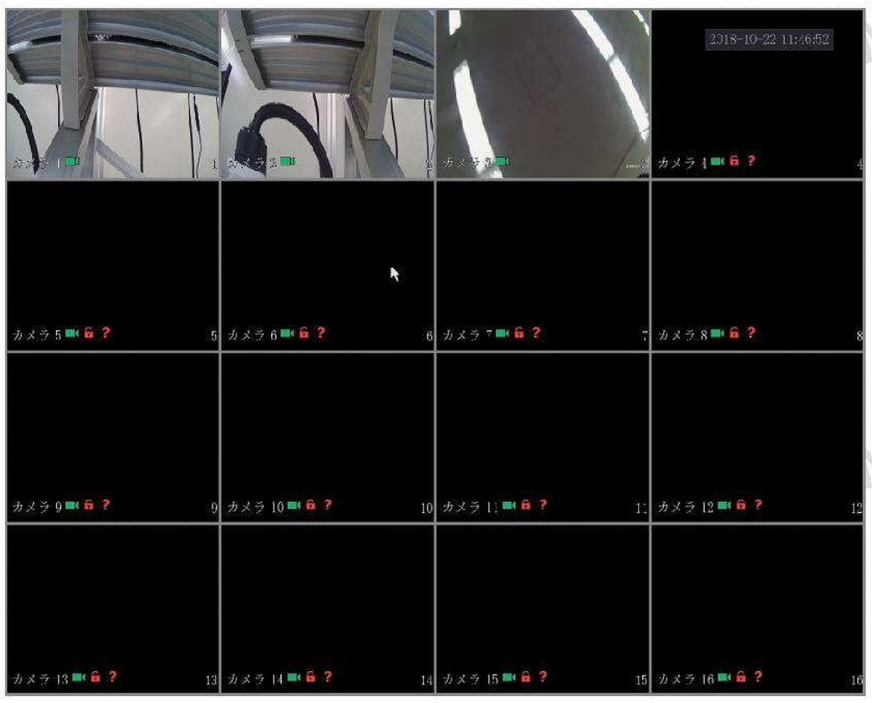
本章ではシステムにログインする為の手順を説明します。

3.1. ログアウト状態確認

ログアウト状態から、レコーダを操作するにはシステムにログインすることが必要です。

各画面の左下に マークが表示されていると、
視聴制限(ロック)がかかっています。

※システム設定によってはログアウト状態で、下の写真のように映像が見えている場合もあります。
この場合、画面切り替え等一部の簡単な操作は、システムログインをしなくても操作可能です。



3.2. システムログイン

1) システムログインするには、ライブビューの画面上で右クリックし、「メインメニュー」をクリックします。

DIAMOND INDUSTRIAL CO., LTD.

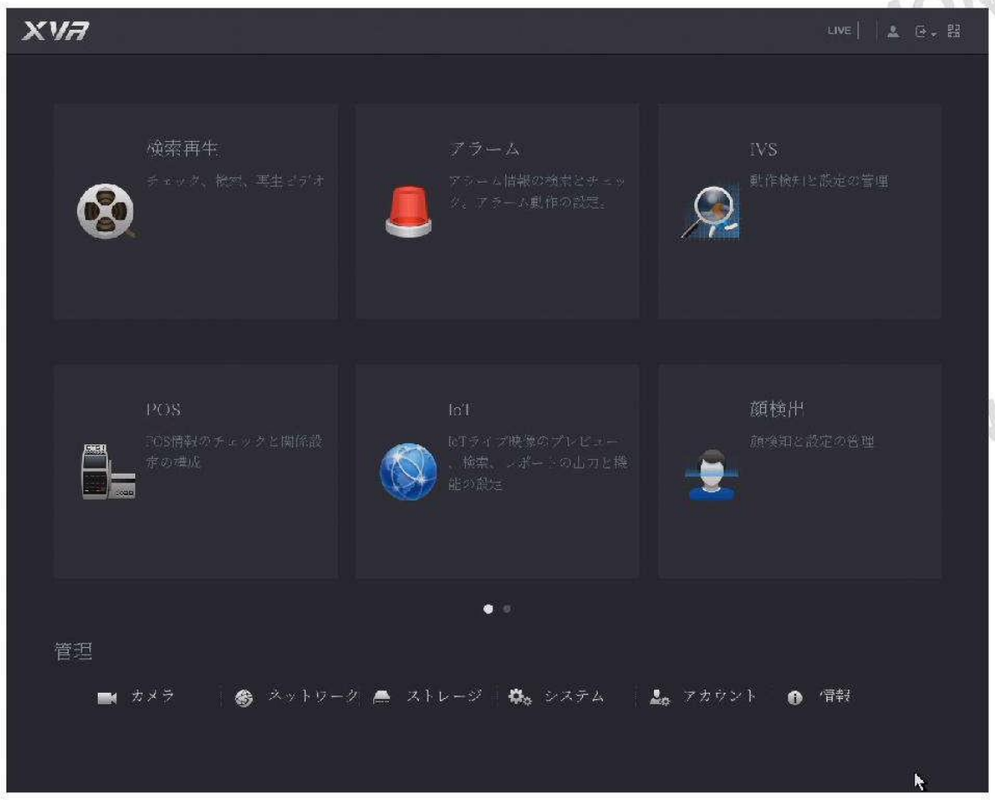
2） 『システムログイン』のポップアップメニューが表示されます。
『ユーザー名』のプルダウンメニューから　自分が使用するユーザー名を選択します。

3） 『パスワード』入力欄にマウスのポインターをあてクリックします。
ソフトウェアーキーボードが表示されるので、マウスを使って 『パスワード』を入力します。

注：パスワード入力を規定回数以上間違えると、そのユーザーはロックされ 30 分間システムログインできなくなります。
<アカウントロック時の対応>
以下の①②のどちらかを実行して下さい。
① 30 分間待って、再度パスワードを入力
② レコーダの本体を再起動（本体の背面にある電源を ON/OFF。または電源コンセントを抜き差し）

4） パスワードの入力が完了したら、『OK』をクリックします。

5） ログインに成功すると、メインメニューが表示されます。



※ メインメニューを消去するには、マウスを右クリックします。

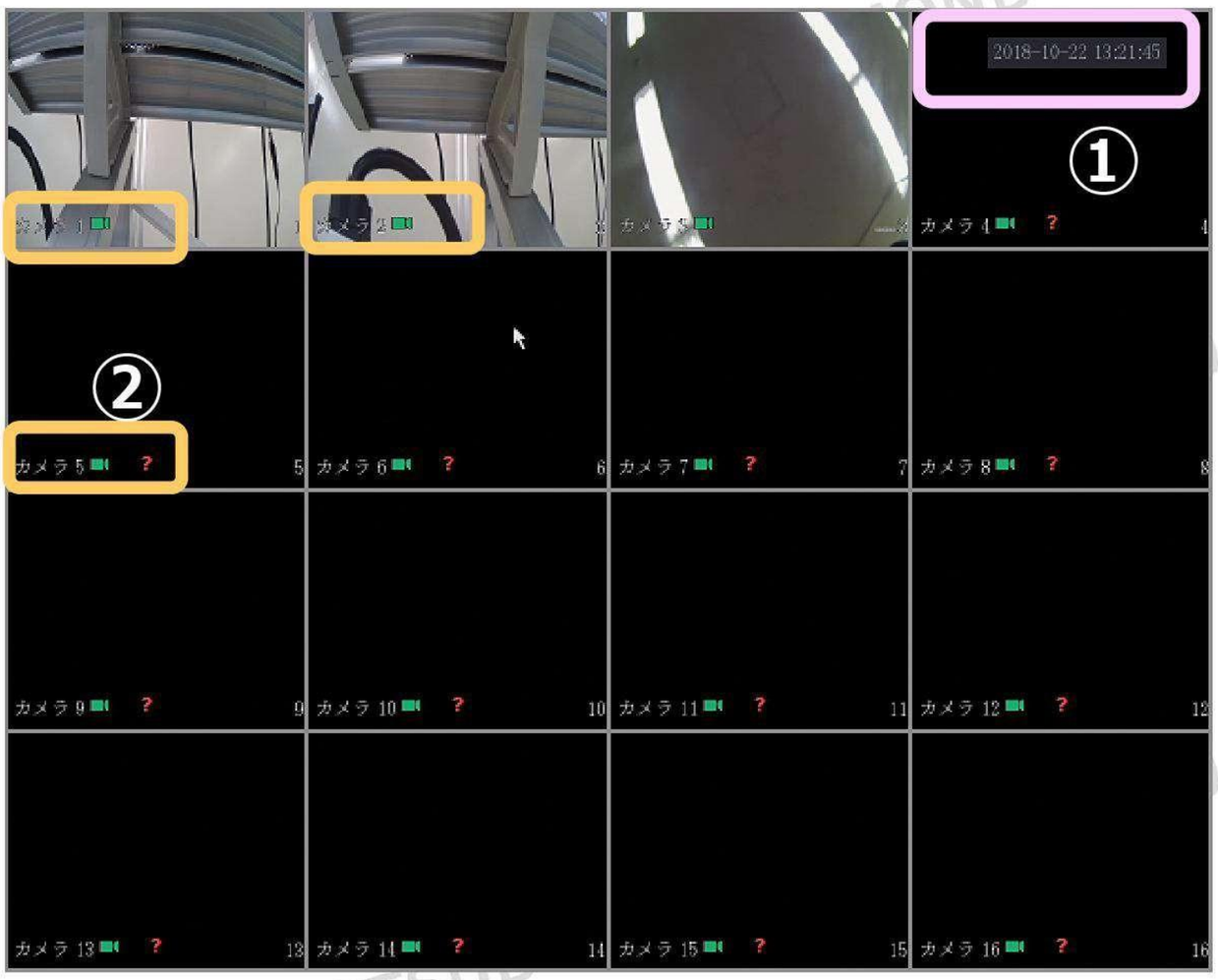
MDI MITSUBOSHI DIAMOND INDUSTRIAL CO., LTD.

4. ライブ映像確認

本章では表示画面の説明・簡単な操作方法・画面の切り替えなどを説明します。

4.1. 表示画面説明

ログインすると、ライブ映像が表示されます。



① 画面右上にレコーダの時刻が表示されます。

② 各カメラ画面の左下に“カメラ名”とアイコンが表示されます。

アイコン	内容
	映像データを記録している時に表示されます
	動きを検知した時に表示されます
	カメラからの入力がない時に表示されます
	カメラにロックがかかっている時に表示されます

③ 最大接続 CH よりも分割表示の方が多い場合（8ch のレコーダの 9 分割表示や 32ch のレコーダの 36 分割表示など）は、余った CH に各 CH の使用帯域が表示されます。

MDI MITSUBOSHI DIAMOND INDUSTRIAL CO., LTD.

4.2. デジタルズーム

各 CH の上部にカーソルを移動すると、プレビュー表示画面が表示されます。

※ 機種によって表示されるアイコンの内容は異なります。

ボタンをクリックし、ボタンの表示が、 に変わることを確認します。

拡大したい場所で、マウスをドラッグすると、緑色の選択枠が表示されます。ドラッグしながら枠の大きさを調整し、所望の選択枠になった時点でドラッグを停止すると、緑色の枠内がデジタルズームされます。

右クリックでズーム動作がキャンセルされ、ライブ映像画面に戻ります。
※ マウスホイール操作で、デジタルズームが出来る機種もあります。

4.3. PTZ 操作

ライブビューから、PTZ 操作を行う手順について説明します。
※PTZ、モータライズ、電動バリフォーカルのカメラのみ使用可となります。

4.3.1. PTZ 操作画面表示

画面上で右クリックを行い、“右クリックメニュー”を表示し、” ﾊﾟﾝ/ﾁﾙﾄ/ｽﾞｰﾑ”をクリックします。

4.3.2. PTZ 操作

以下の画面が表示されます。

操作が終了したら、右クリックして画面を閉じて下さい。

No.	操作
1	PTZ カメラを移動させます。
2	カメラの移動速度を変更します。
3	ズームを実行します。
4	フォーカスを変更します。
5	アイリスを変更します。

MDI MITSUBOSHI DIAMOND INDUSTRIAL CO., LTD.

4.4. 表示画面切り替え

4.4.1. 1画面化

1画面表示したい CH 映像をダブルクリックすると、選択画面の 1 画面表示が出来ます。(後述の “画面分割モード” でも表示可能です。)

4.4.2. プレビュードラッグ (ライブ画面の位置入れ替え)

移動させたい CH 上で、マウスを左クリックしたまま、移動させたい CH までドラッグし、マウス左ボタンを離すと、CH の場所を入れ替えることが出来ます。

4.4.3. 画面分割モード

画面上で右クリックを行い、“右クリックメニュー”を表示させます。

分割モードの選択は、下表のようになります。

ビュー1	1 画表示をします。1ch～64ch から選択します
ビュー4	4 分割表示をします。1ch～4ch、5ch～8ch、・・・、58ch～64ch から選択します。
ビュー8	8 分割表示をします。1ch～8ch、9ch～16ch、 ・・・、53ch～64ch から選択します。
ビュー9	9 分割表示をします。1ch～9ch、8ch～16ch、・・・、56ch～64ch から選択します。
ビュー16	16 分割表示をします。1ch～16ch、17ch～32ch、・・・、49ch～64ch から選択します。
ビュー25	25 分割表示をします。1ch～25ch、8ch～32ch、 33ch～57ch、40ch～64ch から選択します。
ビュー36	36 分割表示をします。1ch～36ch、33ch～64ch から選択します。

※ 表は 64ch 入力レコーダのものです。ご使用のレコーダ入力のチャンネル数によって 最大チャンネルの数字は変わります。

MDI MITSUBOSHI DIAMOND INDUSTRIAL CO., LTD.

4.4.4. 前画面／次画面

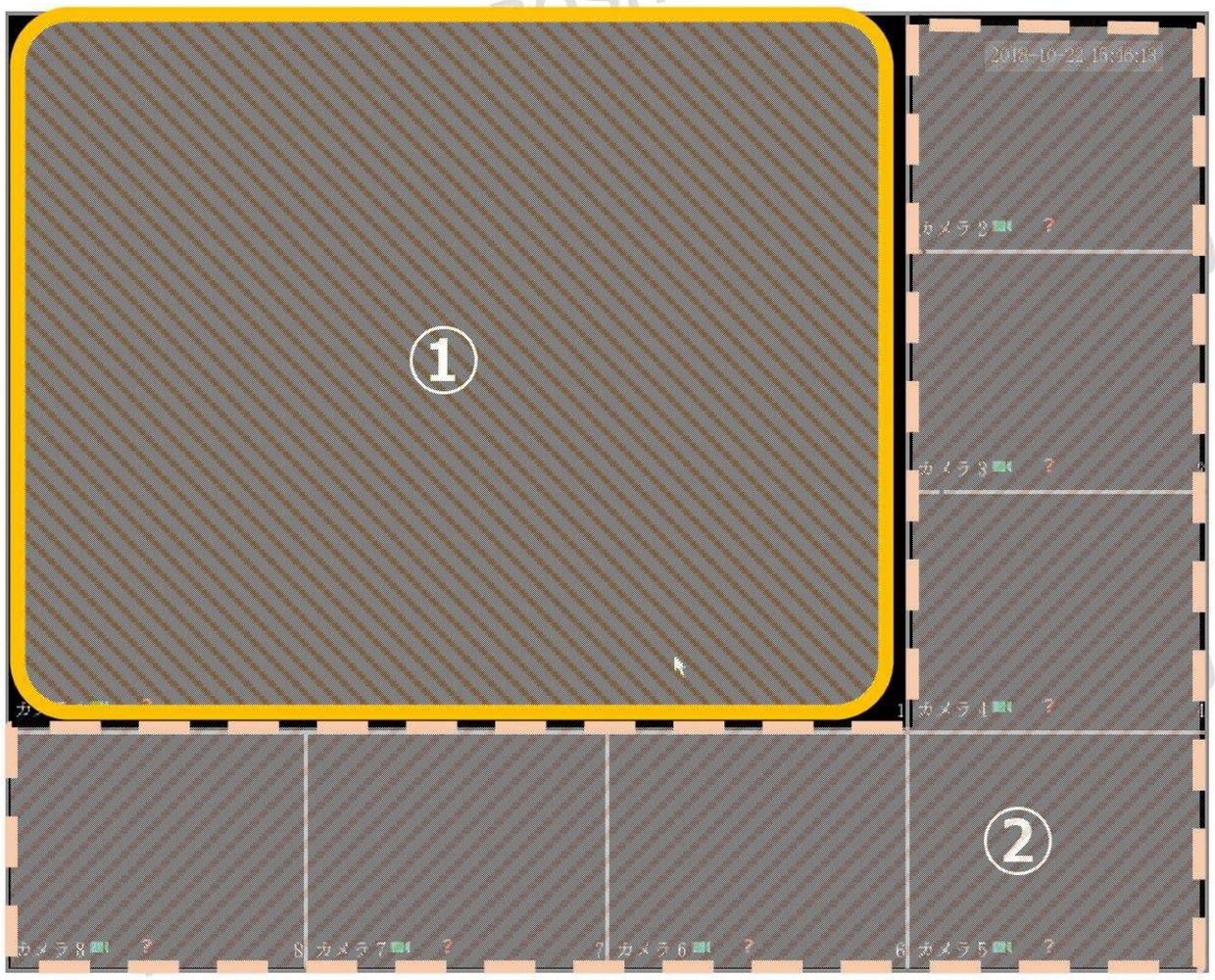
前画面／次画面メニューを使うことによって、マルチ表示画面を簡単に切り替えることが出来ます。

画面表示は、下表のように切り替わります。

ビュー1	前画面 ： ch1→ch64→・・・・・→ch2→ 次画面 ： ch1→ch2→・・・・・→ch64→
ビュー4	前画面 ： ch1～ch4 → ch61～ch64 →・・・・・→ ch5～ch8 → 次画面 ： ch1～ch4 → ch5～ch8 →・・・・・→ ch61～ch64 →
ビュー9	前画面 ： ch1～ch9 → ch56～ch64 →・・・・・→ ch17～ch25 → ch8～ch16 → 次画面 ： ch1～ch9 → ch8～ch16 →・・・・→ch49～ch57 → ch56～ch64 →
ビュー16	前画面 ： ch1～ch16 → ch49～ch64 → ch33～ch48 → ch17～ch32 → 次画面 ： ch1～ch16 → ch17～ch32 → ch33～ch48 → ch49～ch64 →
ビュー25	前画面 ： ch1～ch25 → ch40～ch64 → ch33～ch57 → ch8～ch32 → 次画面 ： ch1～ch25 → ch8～ch32 → ch33～ch57 → ch40～ch64 →
ビュー32	前画面 ： ch1～ch32 → ch33～ch64 → 次画面 ： ch1～ch32 → ch33～ch64 →

※ 表は 64ch 入力レコーダのものです。ご使用のレコーダ入力のチャンネル数によって 最大チャンネルの数字は変わります。

○ ビュー8 は動作が異なり、前画面／次画面メニューで、主画面の切り替えを行います。



・ 8ch 表示は、1 つの主画面（枠①）と 7 つの副画面（枠②）で構成されています。
・ 例えば 1ch～8ch 表示時、主画面は ch1、副画面は ch2～ch8 が表示されます。
・ 前画面／次画面を操作すれば、主画面が ch1→ch2→・・・→ch8 に切り替わり、残りの ch を副画面に表示します。

MDI MITSUBOSHI DIAMOND INDUSTRIAL CO., LTD.

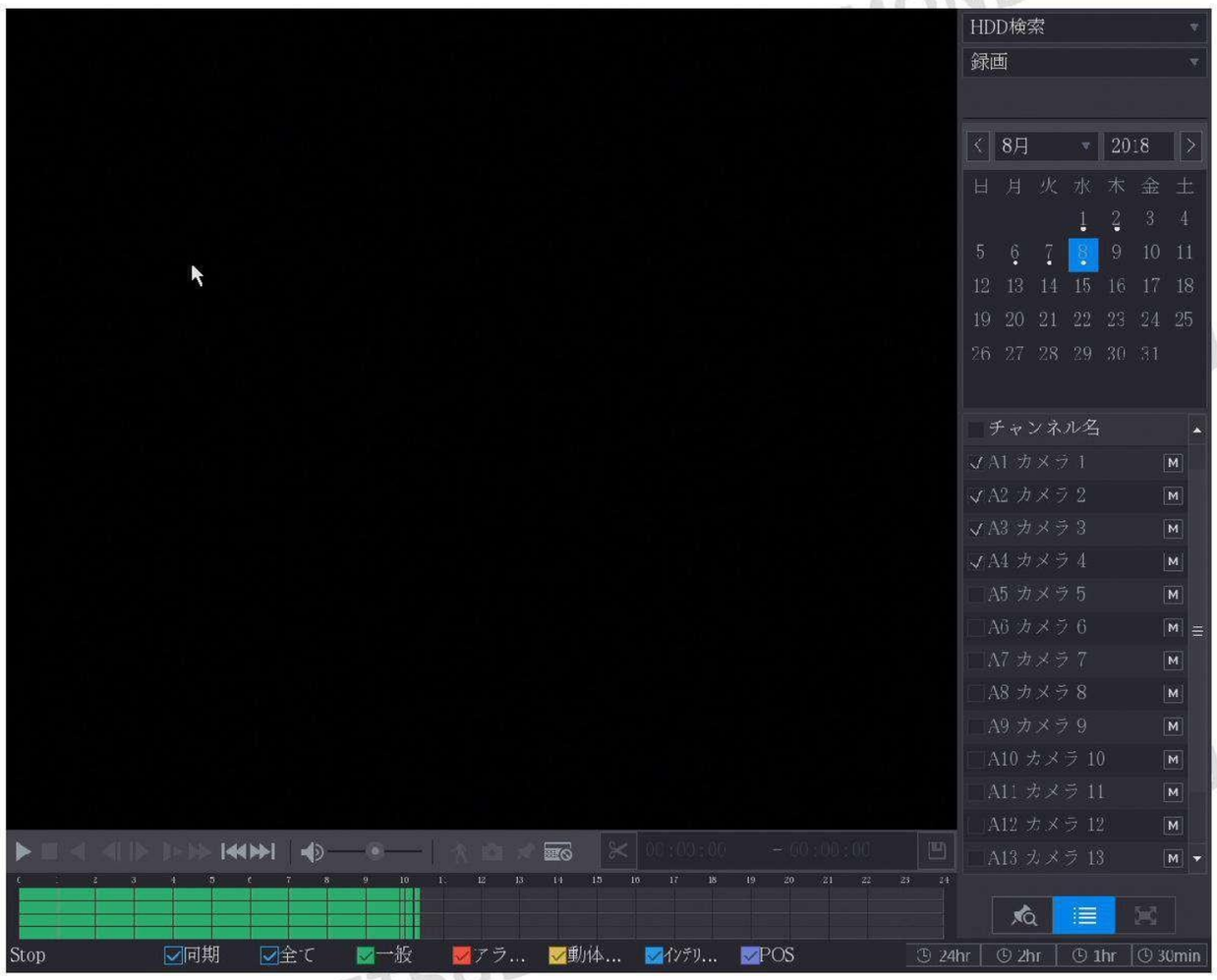
5. 記録映像検索・再生

本章では、記録映像の検索・再生の各種操作を説明します。

5.1. 記録映像検索

1） 画面上で右クリックを行い、ポップアップメニューの『メインメニュー』をクリックします。（①）
メインメニューが表示されますので、『検索再生』をクリックします。（②）

2）『検索』をクリックすると、下の検索画面が表示されます。



3） 表示カメラ選択します。
再生するチャンネルとストリームをクリックで選択し、再生します。

チェックが入っている場合、
再生するチャンネル

M：メインストリーム
S：サブストリーム

但し、選択したチャンネルの順番に、再生表示画面の1チャンネルから表示されます。（カメラ4→カメラ3→カメラ2→カメラ1の順に選択した場合、画面 1 にカメラ 4、画面 2 にカメラ 3、画面 3 にカメラ 2、画面 4 にカメラ 1 の録画映像が表示されます。）
また、サブストリームは録画の設定を行っていない場合、時間（緑色のバー）はタイムバーに表示されません。

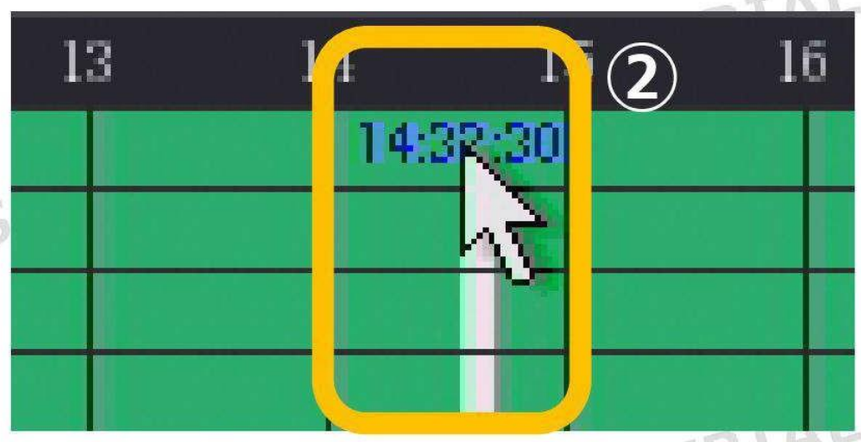
MDI MITSUBOSHI DIAMOND INDUSTRIAL CO., LTD.

再生する分割画面数は、選択したチャンネル数で自動的に変更されます。

再生分割表示数	チャンネル選択数
1 画面表示	1 チャンネルのみ選択
4 画面表示	2～4 チャンネル選択
9 画面表示	5～9 チャンネル選択
16 画面表示	10～16 チャンネル選択

※再生は最大 16 チャンネルまでの指定になります。

4） 表示する日時を指定します。



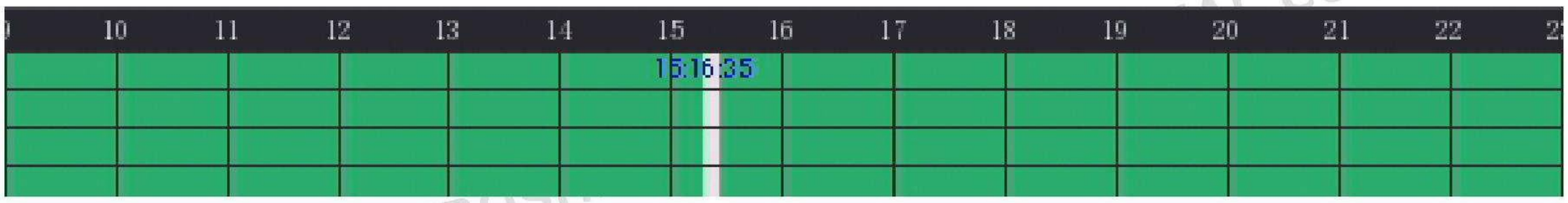
例えば 2018 年 10 月 22 日 14:32 のデータを再生するには

① ： カレンダー上で、表示する年月日を選択します。

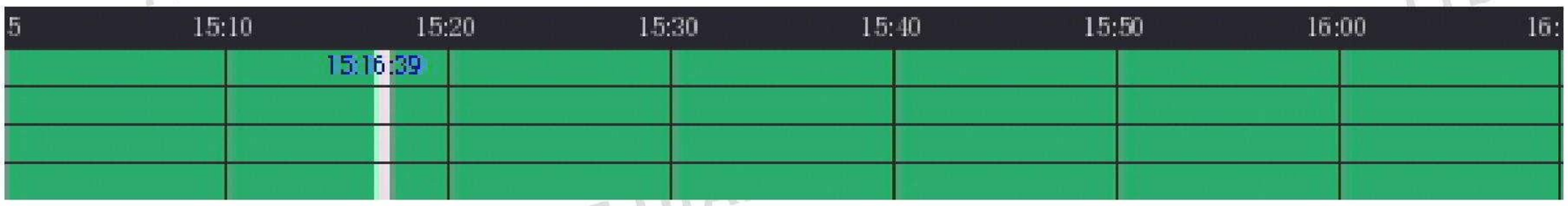
② ： タイムバー上で、表示する時間をクリックします。

5） タイムバーで正確な時間指定を行うには、タイムバーユニットを使用して時間軸をズームします。
24 時間 ／2 時間 ／1 時間 ／30 分 から選択します。（注：タイムバーの切り替えは再生中のみ可能です）

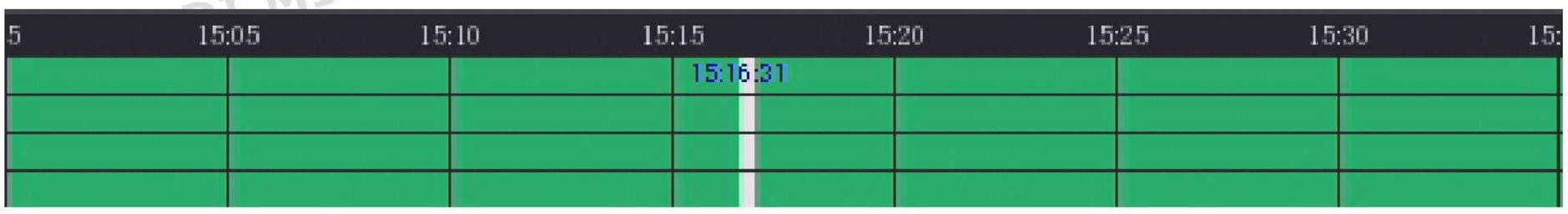
① 24hr 選択時 ： バーの時刻表示は 1 時間単位です。



② 2hr 選択時 ： バーの時刻表示は 10 分単位です。

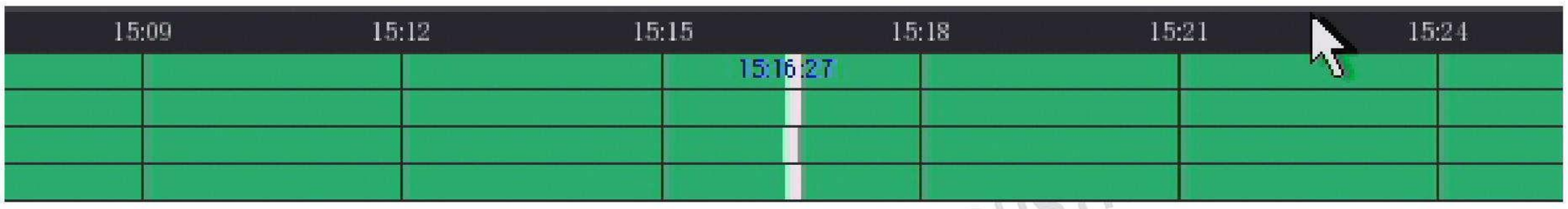


③ 1hr 選択時 ： バーの時刻表示は 5 分単位です。

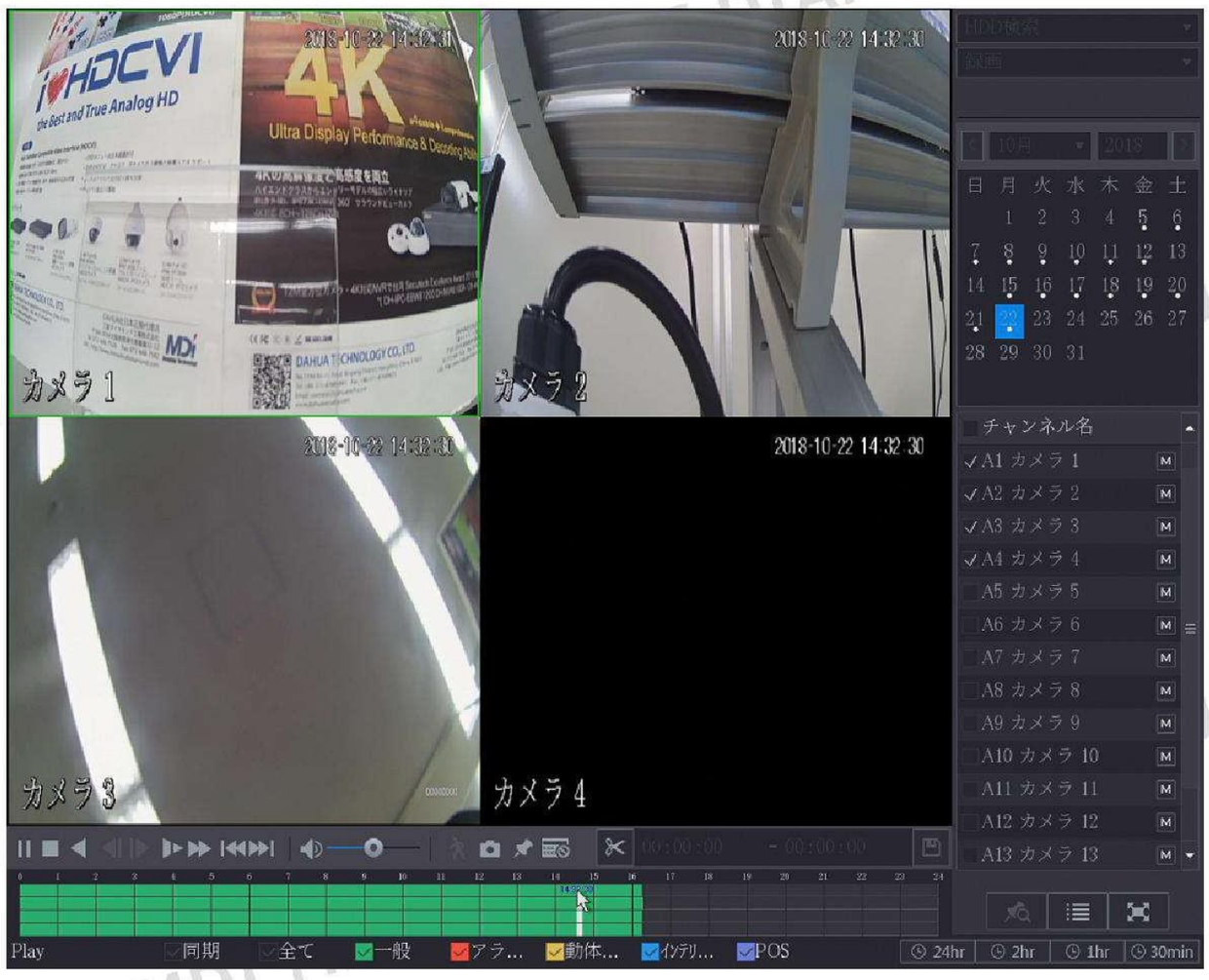


MDI MITSUBOSHI DIAMOND INDUSTRIAL CO., LTD.

④ 30min 選択時 ： バーの時刻表示は 3 分単位です。



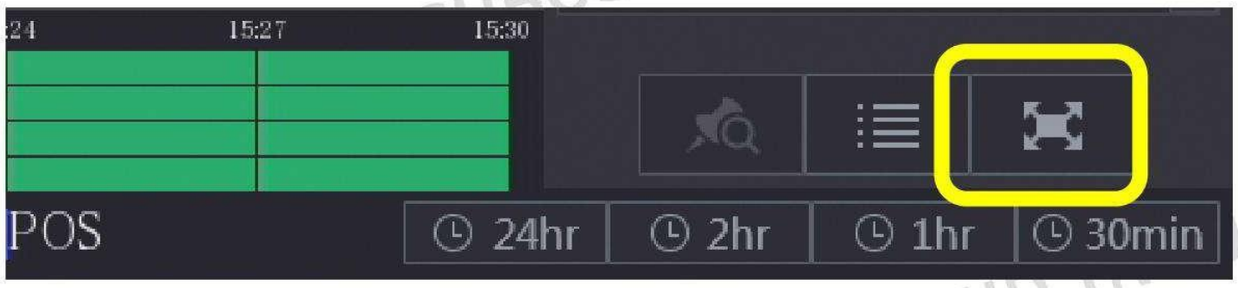
6） 設定が完了すると 再生が開始します。



5.2. 再生画面操作

5.2.1. 全画面表示

『全画面』ボタンをクリックすると、全画面表示が出来ます。



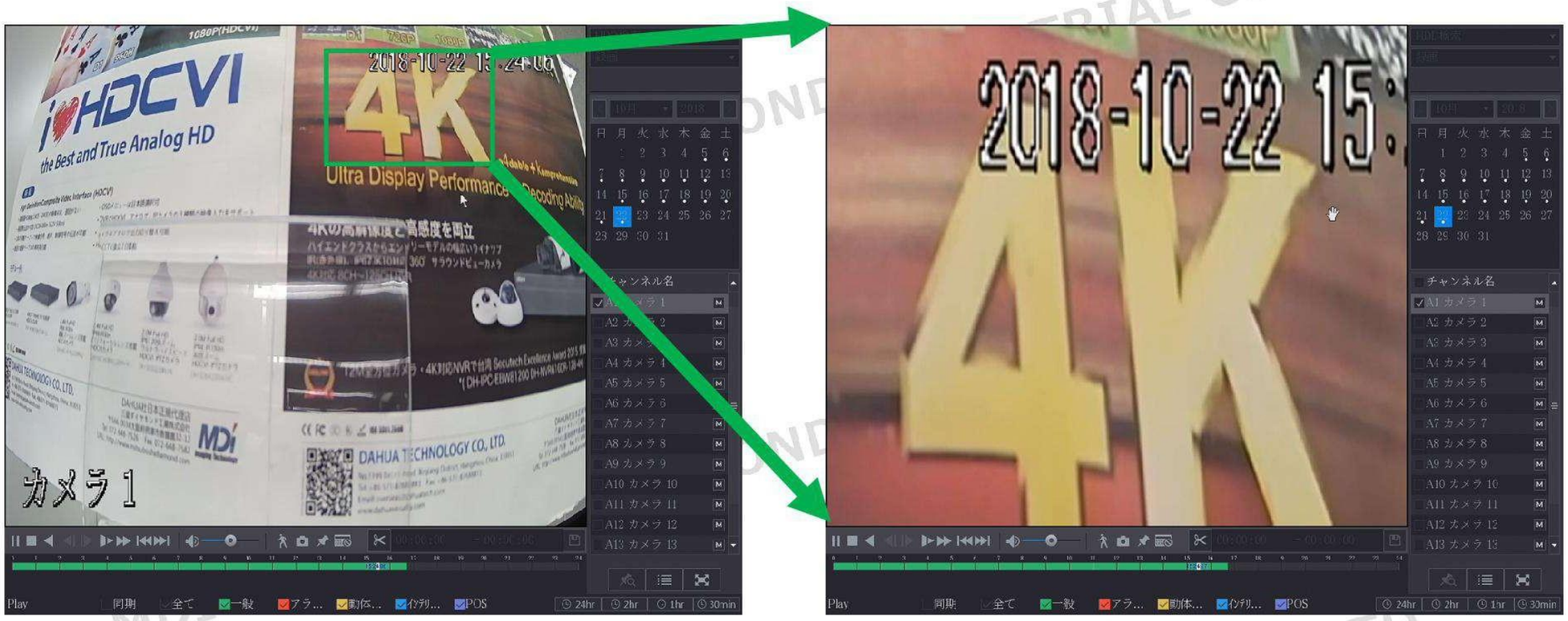
5.2.2. 1画面表示

1 画面表示をしたい画像上で、マウスをダブルクリックすると 1 画面表示が出来ます。

MDI MITSUBOSHI DIAMOND INDUSTRIAL CO., LTD.

5.2.3. デジタルズーム

1 画面表示後、拡大したい場所で、マウスをドラッグすると 緑色の選択枠が表示されます。ドラッグしながら枠の大きさを調整し、所望の選択枠になった時点でドラッグを停止すると、緑色の枠内がデジタルズームされます。



※ 右クリックでズーム動作がキャンセルされます。

5.2.4. 再生制御ボタン

1） 停止中

① ② ③

	アイコン	名称	動作
①		再生	タイムバーの最初から再生を開始します。
②		前日	録画検索の日付を前日に変更します。
③		翌日	録画検索の日付を翌日に変更します。

2） 再生中

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

	アイコン	名称	動作
①		一時停止	検索再生を一時停止します。
②		停止	検索再生を停止します。
③		逆再生	逆再生をします。
④		スロー再生	1/2 倍速→1/4 倍速→1/8 倍速→1/16 倍速の順にスロー再生をします。
⑤		高速再生	等倍速、2 倍速、4 倍速、8 倍速、16 倍速の順に速度を変更します。
⑥		前日	録画検索の日付を前日に変更します。（検索再生は停止します）
⑦		翌日	録画検索の日付を翌日に変更します。（検索再生は停止します）

MDI MITSUBOSHI DIAMOND INDUSTRIAL CO., LTD.

3）一時停止中

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

	アイコン	名称	動作
①		再生	再生を再開します。
②		停止	検索再生を停止します。
③		逆再生	逆再生をします。
④		前フレーム	前のフレームのコマ送りをします。
⑤		次フレーム	次のフレームのコマ送りをします。
⑥		前日	録画検索の日付を前日に変更します。（検索再生は停止します）
⑦		翌日	録画検索の日付を翌日に変更します。（検索再生は停止します）

5.3. 再生日時変更

再生日時を変更するには、『停止』(①)をクリックし、再生が停止し黒画面表示の状態で日付を変更する。もしくは、『前日』/『翌日』をクリックして日付を変更します。その後、時間を選択して、検索再生を行ってください。

5.4. 検索モード終了

検索再生を停止させます。停止後、黒画面表示の状態でマウスを右クリックして下さい。メインメニューの画面に戻ります。

MDI MITSUBOSHI DIAMOND INDUSTRIAL CO., LTD.

6. 記録データバックアップ

本章では、記録データの USB デバイスへのバックアップ方法を説明します。

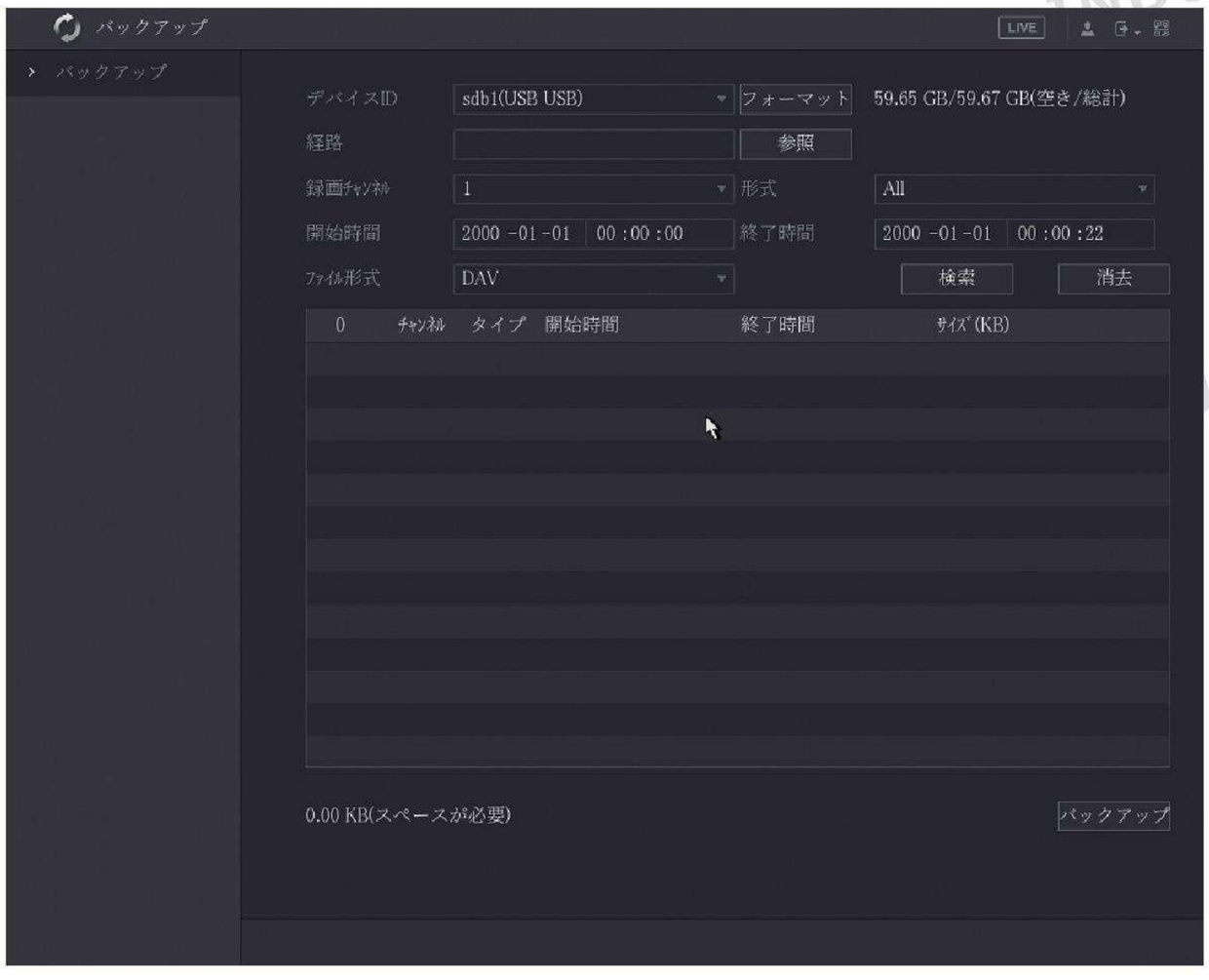
6.1. バックアップ画面表示

1） USB メモリを本体に挿入すると、USB デバイスの画面が表示されますので、右クリックで画面を消去してください。
※USB デバイスの画面の『ファイルバックアップ』をクリックしても、バックアップ画面が表示されますが、ここでは、メインメニューからの手順を説明いたします。

2） 画面上で右クリックを行い、ポップアップメニューの『メインメニュー』をクリックします。（①）
メインメニューが表示されますので、『バックアップ』をクリックします。（②）

※『バックアップ』が無い場合、中央の下段にある のグレー側の クリックし、画面を切り替えてください。

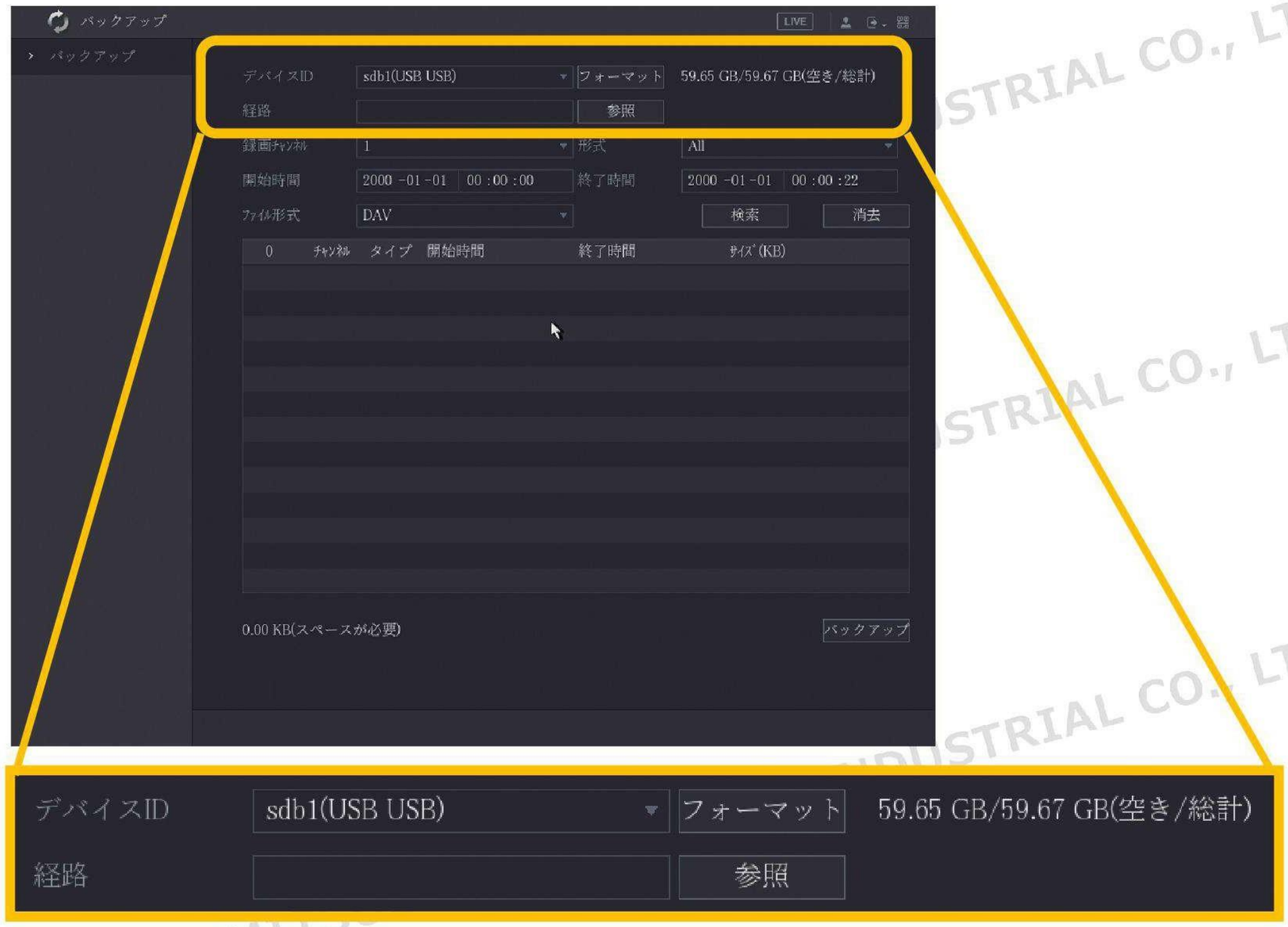
3） バックアップ画面が表示されます。



MDI MITSUBOSHI DIAMOND INDUSTRIAL CO., LTD.

6.2. バックアップデバイスの確認

2）バックアップ用 USB デバイスの、デバイス ID、空き容量などが表示されていることを確認します。



6.3. バックアップの設定

1）バックアップ設定画面で、次の 4 項目を設定します。

	項目	処理
①	録画チャンネル	バックアップする録画チャンネルを設定します。
②	形式	記録ファイルのうちバックアップしたいイベントのファイルを選択します。 ※イベントの設定、ならびに録画スケジュールにてイベントの録画設定を行っていない場合は検索されません。
③	開始時間/終了時間	バックアップするファイルの開始時間と終了時間を設定します。
④	ファイル形式	再生ソフトに応じて、バックアップする際のファイル形式を指定します。 ・Dahua 製 SmartPlayer → DAV を選択 ・Windows Media Player → MP4 を選択

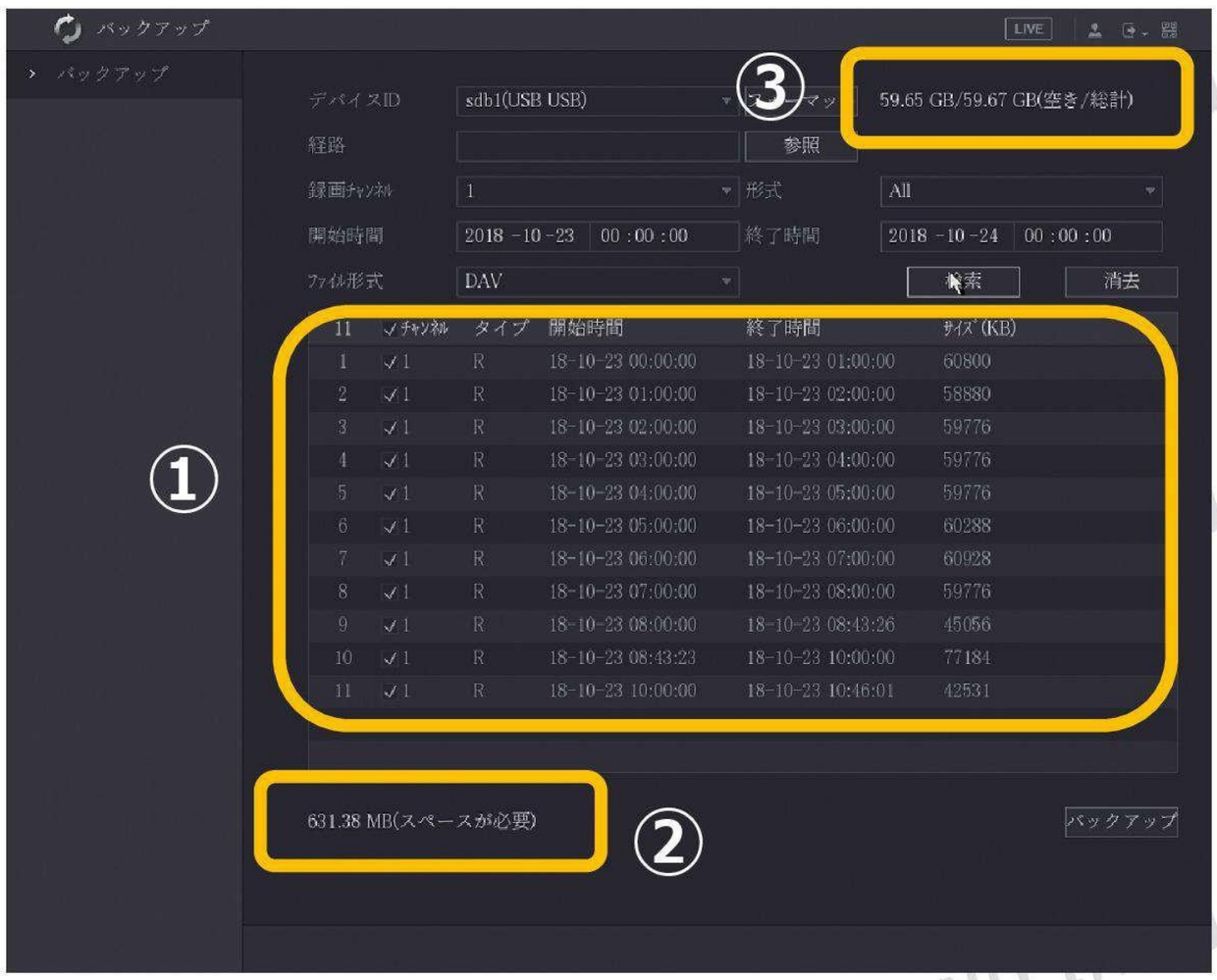
注： SmartPlayer はバックアップ時に USB にインストールされます。インストールされない場合は、下記弊社 HP からダウンロードをお願いします。

https://www.mitsuboshidiamond.com/it/?s=&post_type=docss&docsscategory=&docssfunc1=docssfncsoftdl

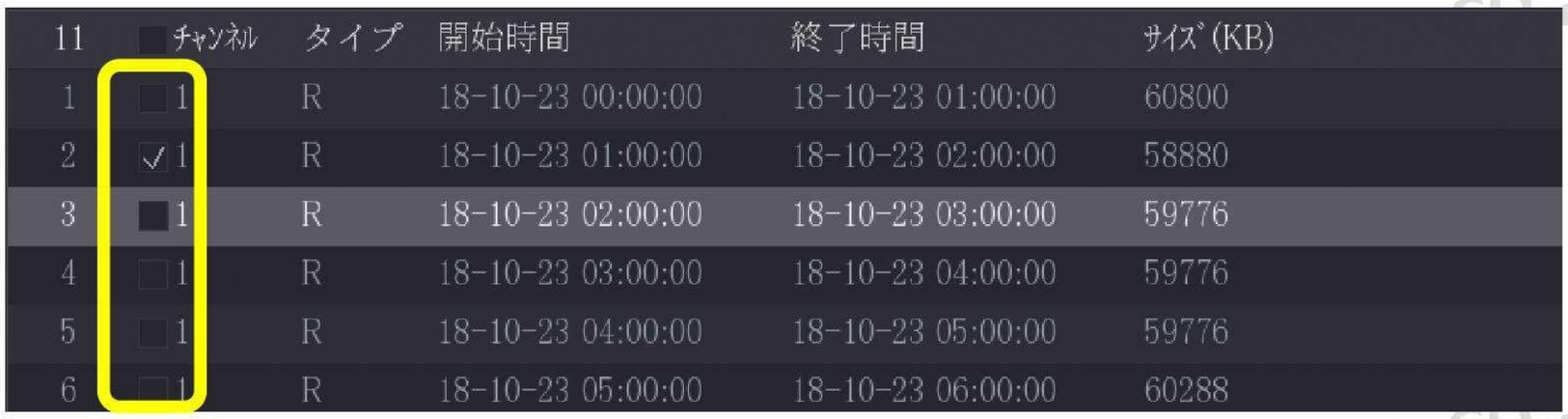
MDI MITSUBOSHI DIAMOND INDUSTRIAL CO., LTD.

2） 設定が完了したら『検索』をクリックします。

3） 検索が完了すると、検索条件に一致するファイル（①）が表示されます。必要な容量（②）および残容量（③）は、システムにより自動的に計算されます。

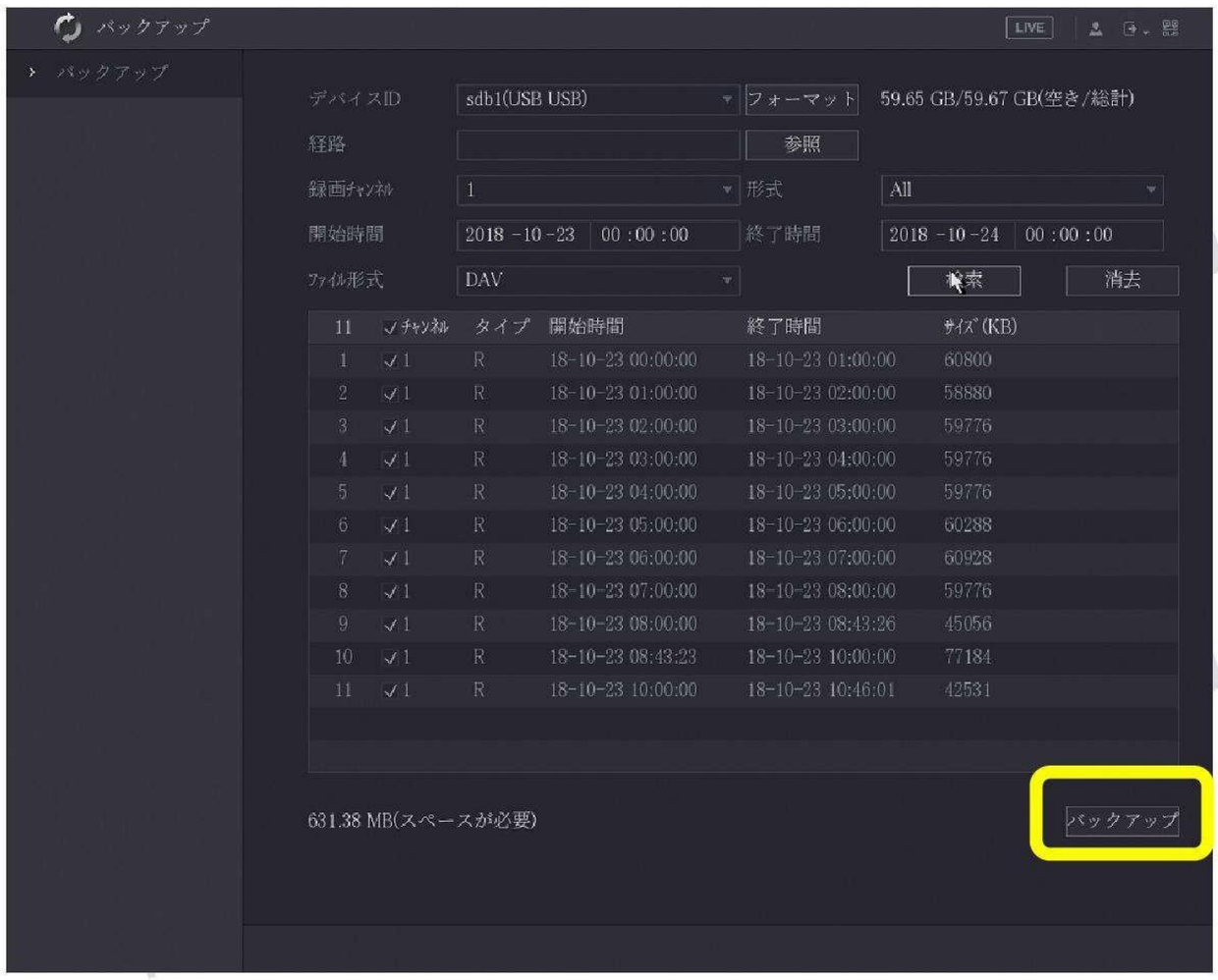


4） 全てのファイルに☑チェックが入っていますので、バックアップの対象でないファイルの☑を外し、バックアップの対象ファイルのみ☑を入れてください。

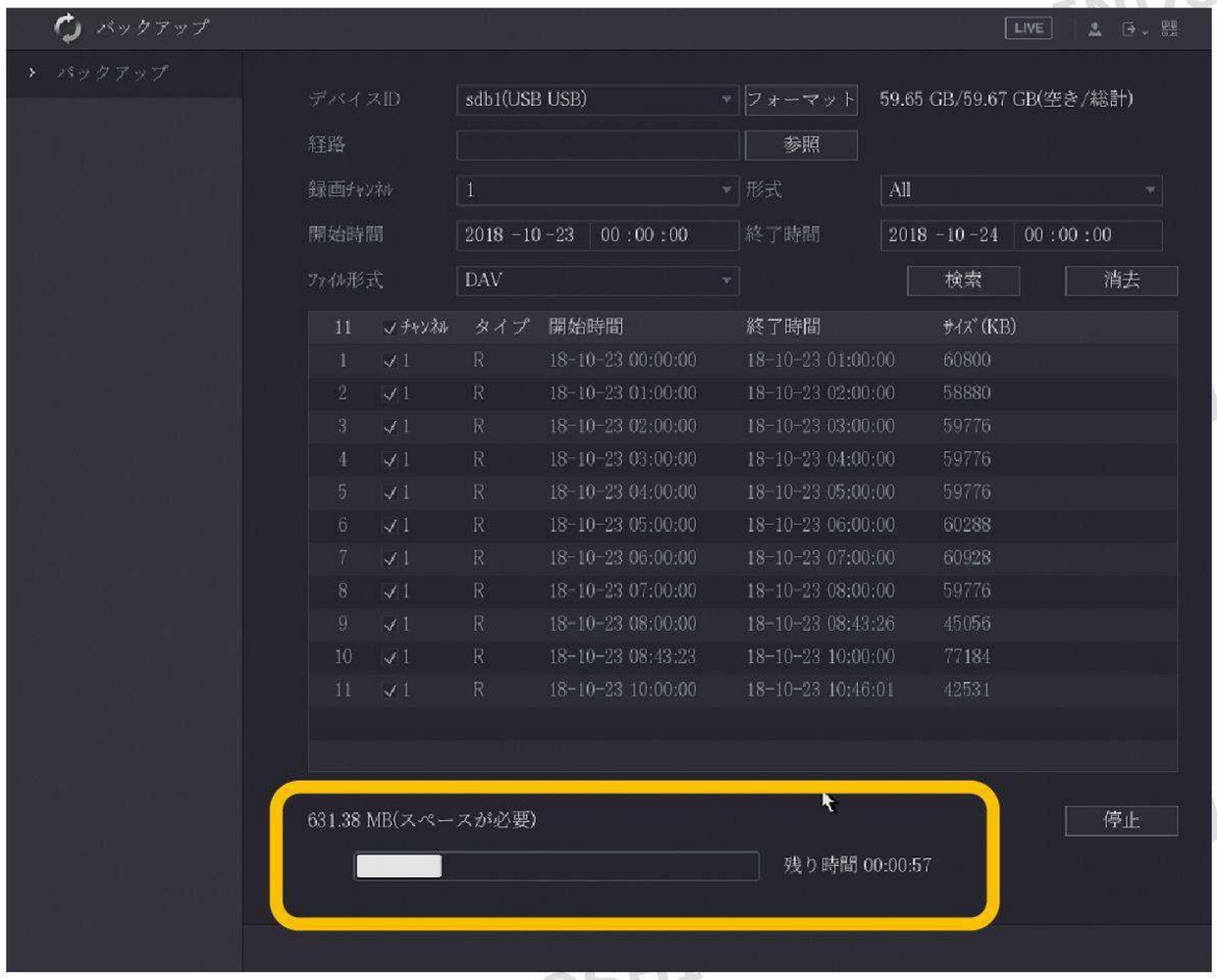


MDI MITSUBOSHI DIAMOND INDUSTRIAL CO., LTD.

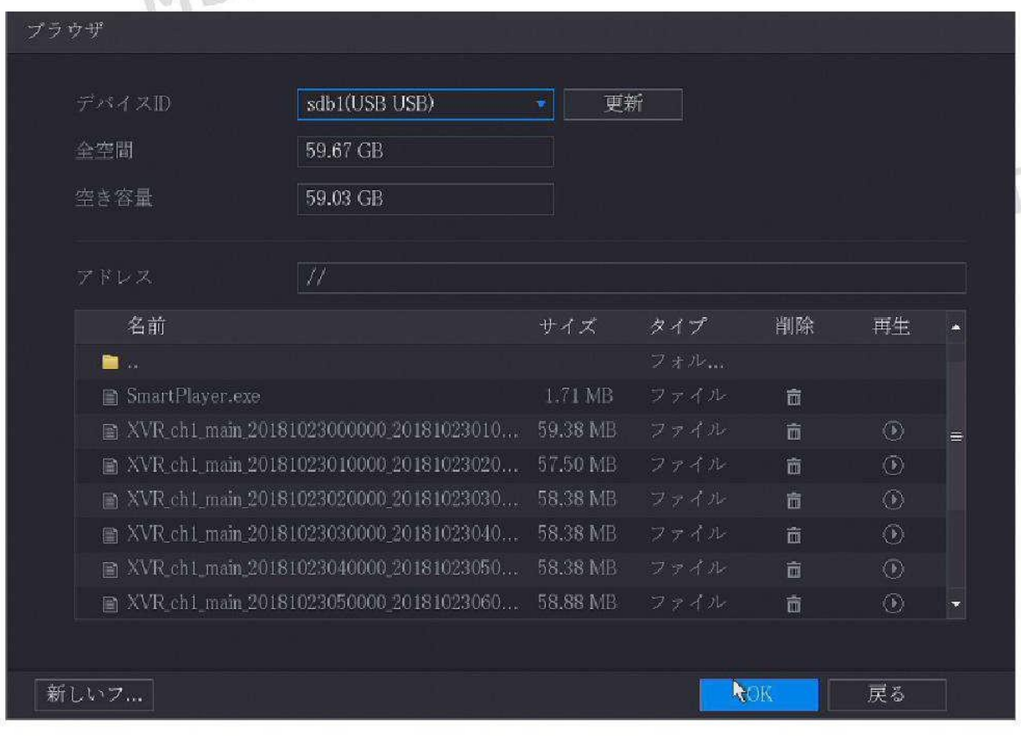
5）ファイルの選択が完了したら、『バックアップ』ボタンをクリックします。



6）プログレスバーが表示され、バックアップを開始します。



7）バックアップが完了すると、USB デバイス内のファイルが表示されます。

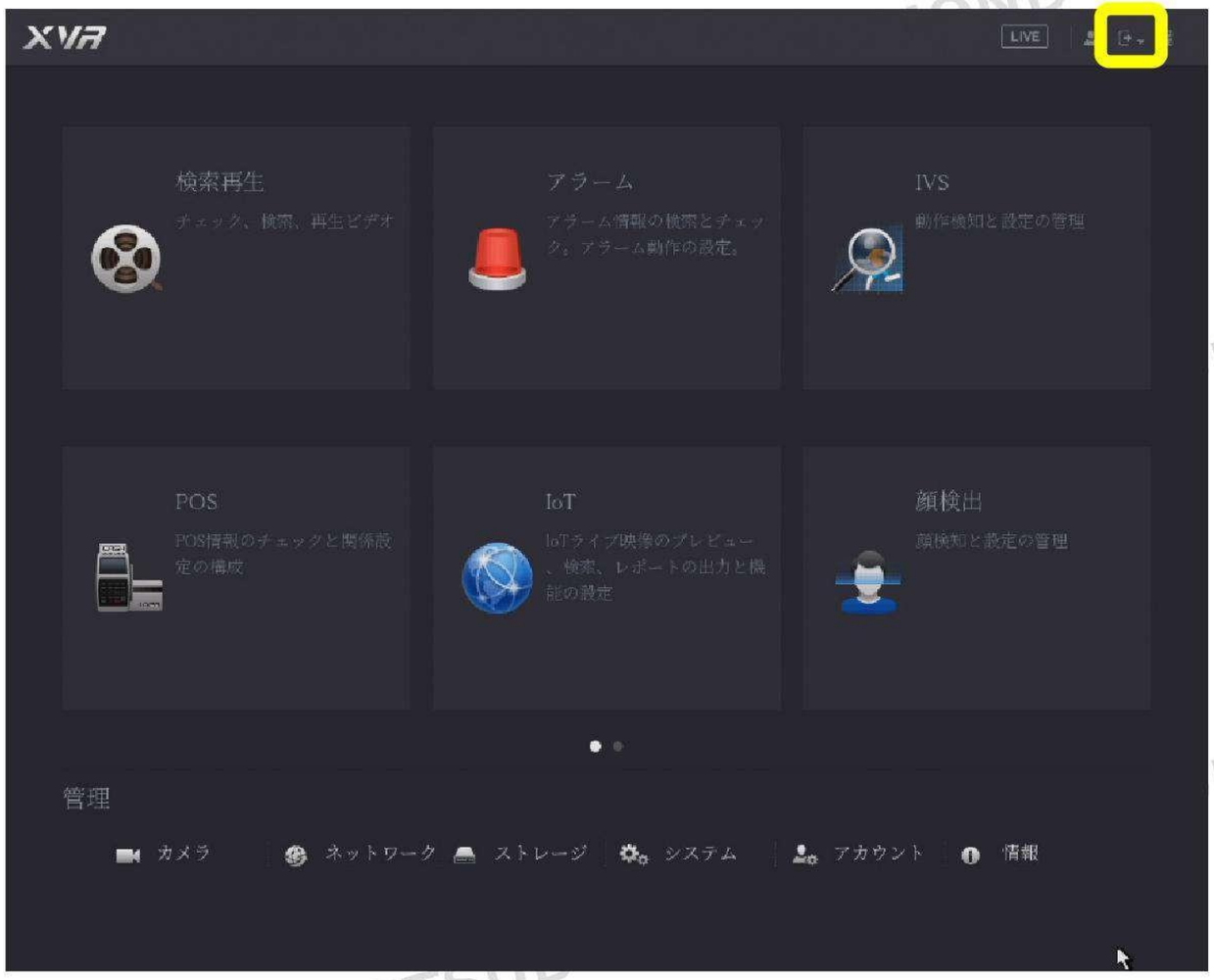


MDI MITSUBOSHI INDUSTRIAL CO., LTD.

7. ログアウト

本章では、ログアウトの手順を説明します。
セキュリティーの観点から、レコーダ御使用の後は、必ずログアウトされる事を推奨します。

1） メインメニューを呼び出し、右上にある のアイコンをクリックします。



2） シャットダウンメニューが表示されますので、『ログアウト』をクリックするとログアウトします。

注 ： 設定時間以上、画面操作を実施しなければ、自動的にログアウトします。操作が必要な場合は、再度システムログインを行ってください。

【補足】 シャットダウンメニューからは、ログアウト動作以外に、① 再起動動作と② シャットダウン動作が可能です。但し、再起動とシャットダウンは、クリックすると即時動作に入ります。 ご注意ください。

MDI MITSUBOSHI DIAMOND INDUSTRIAL CO., LTD.

8. 補足

8.1. 日付時刻の修正方法

1） 画面上で右クリックを行い、ポップアップメニューの『メインメニュー』をクリックします。（①）
メインメニューが表示されますので、『システム』をクリックします。 （②）

2） システム設定のメニューで、①『基本設定』をクリックし、②『日付時刻』タブをクリックします。

MDI MITSUBOSHI DIAMOND INDUSTRIAL CO., LTD.

3) 『日付時刻』タブメニューのシステム時刻の入力欄にマウスのポインターをあてクリックします。

①システム時間確認

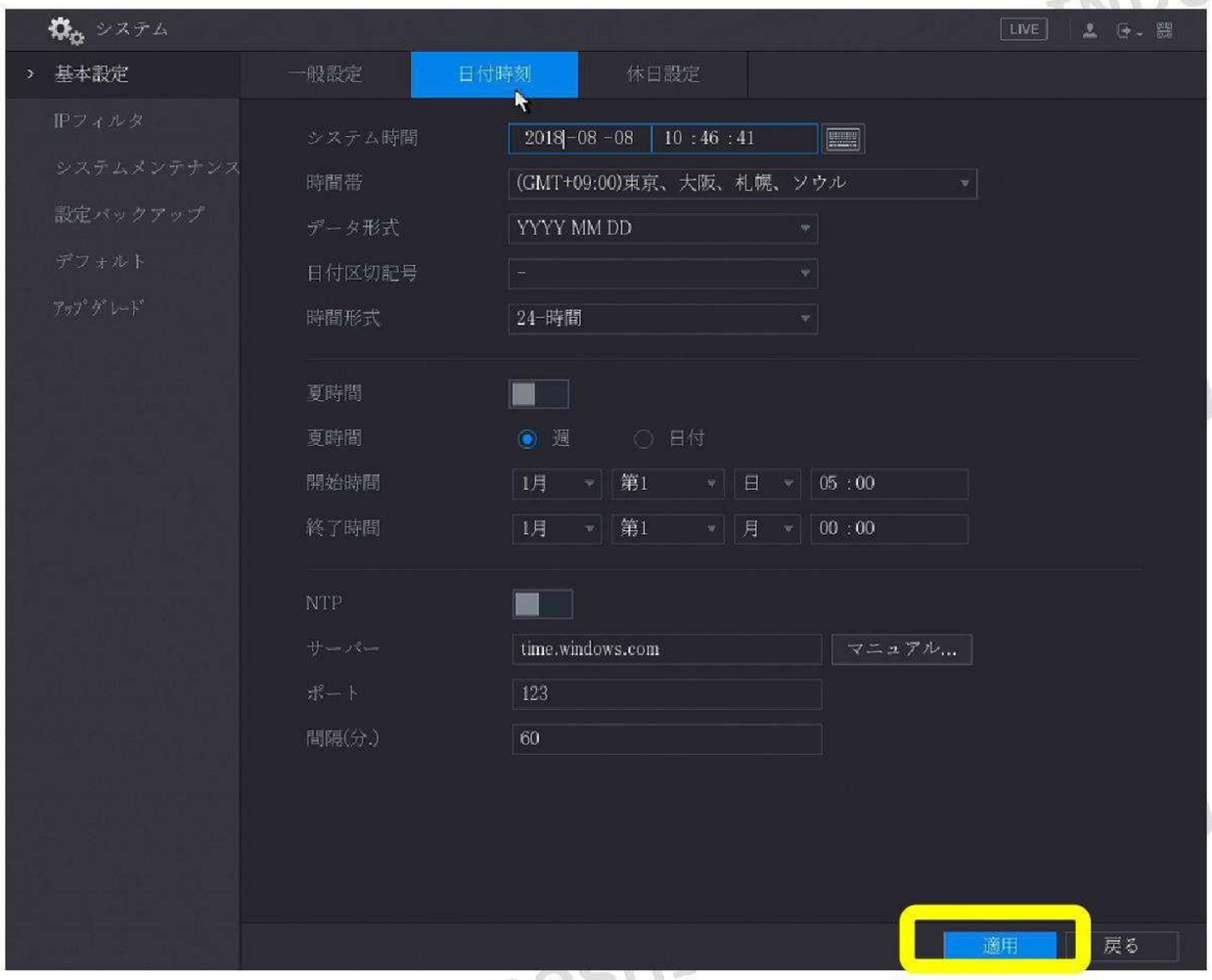
システム時刻が表示されている入力欄にマウスのポインターをあてクリックします。
ソフトウェアーキーボードが表示されます。
マウスのカーソルを、ソフトウェアーキーボードの数字キーに動かし、数字キーをクリックして、システム時刻を設定します。

注 1 ： 年を設定する場合は年、分を設定する場合は分が表示されている部分を、クリックして下さい。
注 2 ： 時間は 00～23、分は 00～59、秒は 00～59 が入力可能です。
これを超える数字を入力すると、時間は 23、分は 59、秒は 59 が表示されます。24:00 を超える設定をした場合は、分は 00 が表示されます。

②タイムゾーン確認

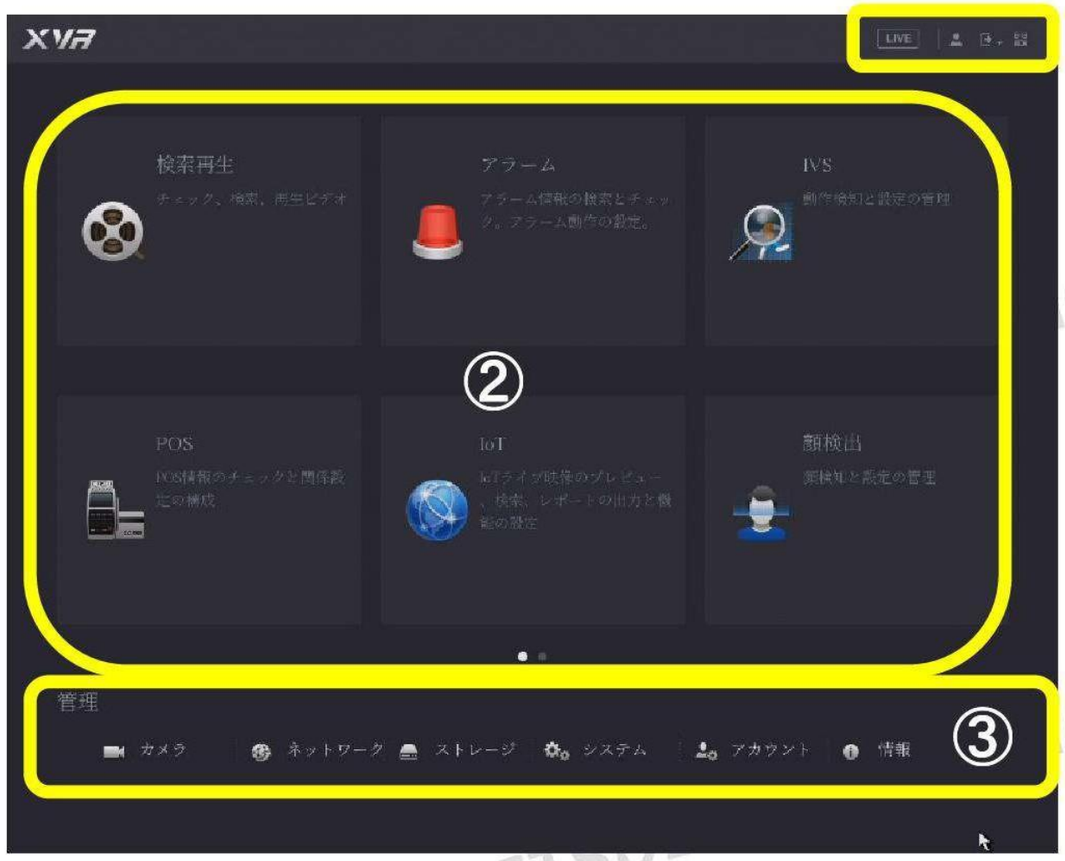
「GMT+09:00」以外が設定されている場合、プルダウンメニューから「GMT+09:00」を選択して下さい。

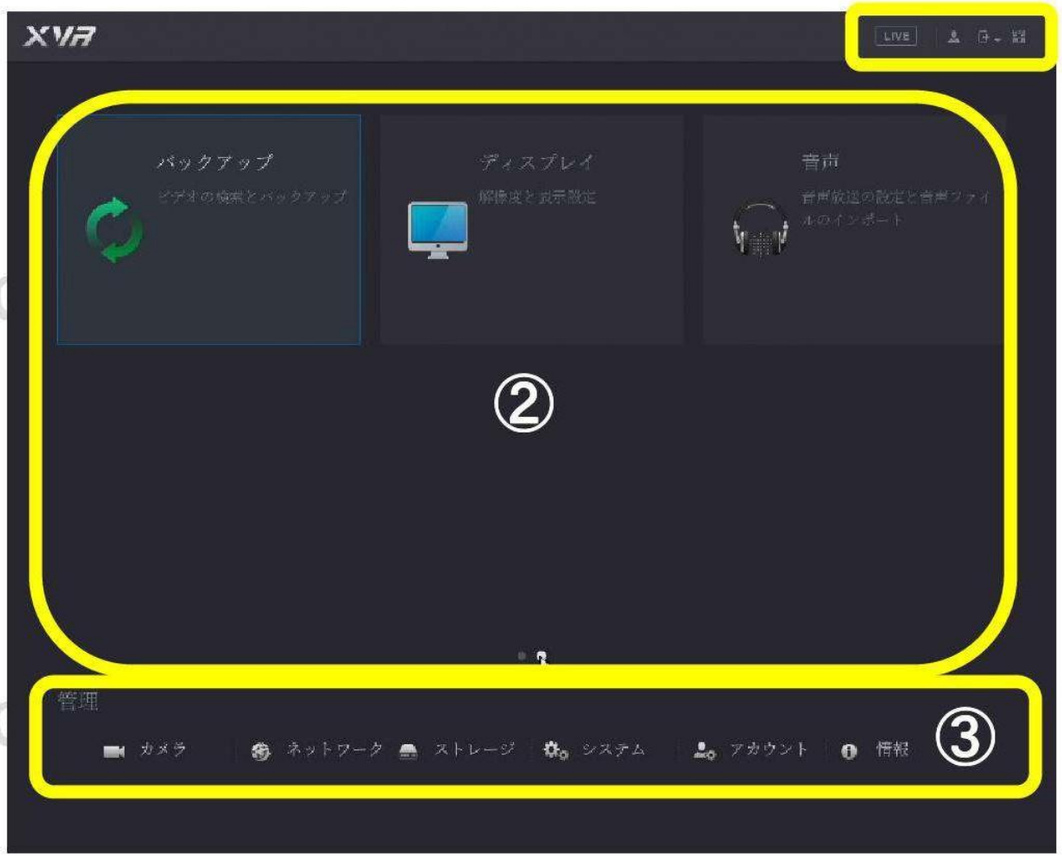
4) 『適用』をクリックし、修正を確定させます。



MDI MITSUBOSHI DIAMOND INDUSTRIAL CO., LTD.

8.2. メインメニュー簡易用語説明





※機種によって、表示されている機能(アイコン)が異なります。

また、メインメニューが複数画面にわたる場合、中央の下段にある のグレー側の クリックすれば画面が切り替わります。

	アイコン		機能
①	LIVE	ライブ	メインメニューを消去し、ライブ映像へ切り替えます。
		アカウント	ログイン中のアカウント表示を行います。
		シャットダウン	「ログアウト」、「再起動」、「シャットダウン」を行うことができます。
		QR コード	クリックすると「P2P クライアント」と「デバイス SN」の QR コードが表示されます。
②		画面切り替え	グレー側の をクリックすることで、メインメニューの画面を切り替える事ができます。
		検索再生	HDD または USB に保存している録画映像を再生します。
		アラーム	アラームの入出力、動体検知やビデオロス、異常処理(HDD エラーなど)イベントなどの設定や IVS 機能を含めたこれらのイベントログ情報を出力することができます。
		IVS	IVS 機能の設定や IVS の結果の出力を行うことができます。
		POS	日本では未サポート
		IoT	日本では未サポート
		顔検索	顔検知の設定や顔検知結果の出力を行うことができます。
		バックアップ	保存している録画映像やスナップショットのバックアップを行うことができます。
		ディスプレイ	表示出力、ビュー表示、ツアーや 0 チャンネルなどの設定を行うことができます。
		音声	音声ファイルの出力設定を行うことができます。
③	カメラ	カメラ	画像調整、エンコード変更、オーバーレイ設定、チャンネルタイプ変更など行うことができます。
	ネットワーク	ネットワーク	TCP/IP、メール設定、P2P 設定などのネットワーク設定を行うことができます。
	ストレージ	ストレージ	スケジュール、フォーマットなどのストレージの設定を行うことができます。
	システム	システム	時刻、メンテナンス、バックアップ、初期設定やアップデートなどの設定を行うことができます。
	アカウント	アカウント	アカウントの登録、削除、変更など行うことができます。
	情報	情報	バージョン情報、HDD やネットワークなどの情報、発生イベントなどを確認することができます。

MDI MITSUBOSHI DIAMOND INDUSTRIAL CO., LTD.

8.3. 右クリックメニュー簡易用語説明

メインメニュー	メインメニュー画面が表示されます。
検索	検索再生画面が表示されます。
パン/チルト/ズーム	パン・チルト・ズームの操作画面が表示されます。
ビュー1、ビュー4、・・・、ビュー16	モニターに表示する分割画面の数を指定します。
前画面・次画面	モニターに表示されているビュー表示での前ビュー表示または次のビュー表示に切り替えます。
手動	映像とスナップショットの保存設定やアラーム出力設定の画面が表示されます。
プレビューモード	顔検出結果をビュー表示の下に表示するか否かの設定を行います。
色設定・イメージ	コントラストやブライトネスなどの映像の調整画面が表示されます。

8.4. プレビュー制御インターフェース簡易用語説明

① ② ③ ④ ⑤

NO.	項目	説明
①	リアルタイム再生	現在のチャンネルの直前の 5～60 分間の録画を再生します。
②	デジタルズーム	現在のチャンネルの指定ゾーンをズームインします。
③	手動録画機能	現在のチャンネルのビデオを USB デバイスにバックアップします。
④	マニュアル スナップショット	画面のスナップショットを実行します。 スナップショットファイルは、USB デバイスまたは HDD 上に保存されます。
⑤	ミュート	クリックしてミュートします。 もう一度クリックすると、プレビュー中にオーディオ機能が有効になります。 この機能は、1 画面モード専用です。

MDI MITSUBOSHI DIAMOND INDUSTRIAL CO., LTD.

以上

P2P 設定と

ＤMSS の簡易手順書

目次

１．概要 4

２．DMSS インストール 4

３．機器（カメラ、レコーダー）の P2P 設定 5

３．1．レコーダーの P2P を有効 5

3．2．カメラの P2P を有効 6

４．DMSS 操作 7

4．1．DMSS の初期設定 7

4．2．DMSS のユーザー設定（推奨） 8

４．３．※ユーザーの追加を招待制にする場合 9

4．４．DMSS のホーム画面 10

4．５．DMSS へ機器登録 10

４．５．１．QR コードをスキャンして登録 11

４．５．２．SN を入力して登録 12

4．６．ライブ再生 14

4．７．録画再生 15

５．動体検知のアラーム設定 16

5．1．アラームの設定 16

５．２．期間設定について 18

5．３．通知をアプリで確認 19

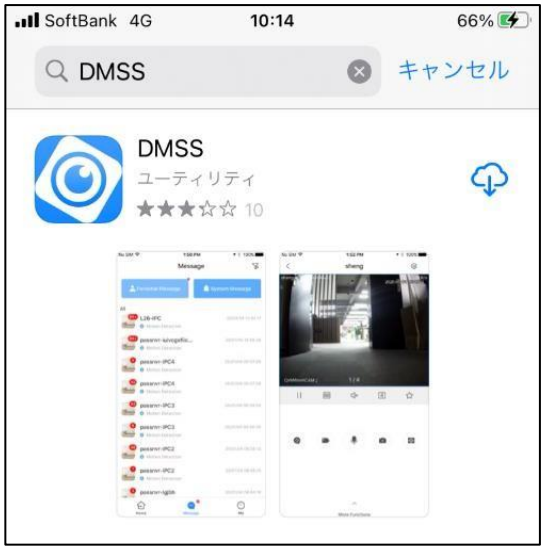
１．概要

本資料は、Dahua の P2P の設定と、DMSS アプリの操作手順を説明します。P2P とは、インターネットに接続した機器（カメラやレコーダーなど）を、インターネットを経由してスマートフォンなどから映像を確認できる機能です。DMSS は、スマートフォン用のアプリです。

２．DMSS インストール

iPhone を例に DMSS のインストール手順を説明します。AppStore から、DMSS を検索しアプリをインストールします。DMSS を起動してからの手順は、「4．DMSS 操作」を参照ください。

DMSS アプリを検索



DMSS のアイコン

3．機器（カメラ、レコーダー）の P2P 設定

機器の初期設定が完了し、インターネットに接続されている前提で説明します。

3．1．レコーダーの P2P を有効

”ネットワーク”の TCP/IP に移動します。ルーターから IP アドレスの割り振りを受ける場合は、DHCP に設定します。DHCP の設定は下記の 2 箇所あります。

“ネットワーク”の”P2P　設定”の画面に移動します。”有効にチェック”を入れ、状態が”オンライン”になっていることを確認してください。「4．3．DMSS へ機器登録」で、”デバイス SN”の QR コード（or シリアルコード）を使用します。

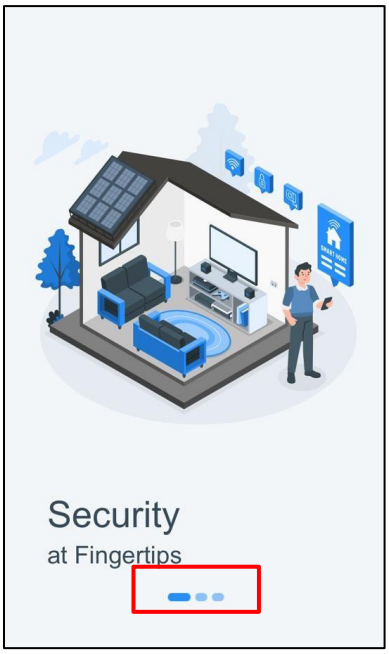
4．DMSS 操作

バージョンが”1.9 9 .602”のアプリを使用して説明します。

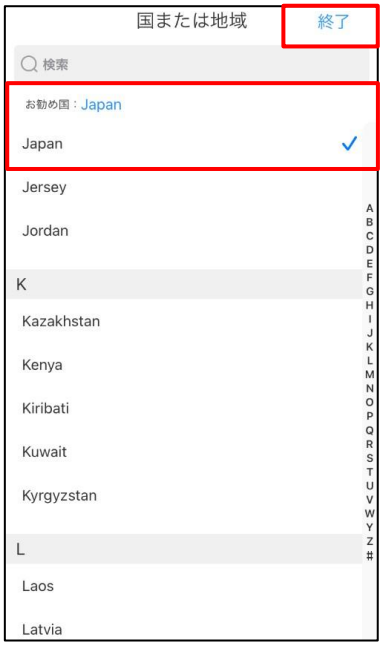
4．1．DMSS の初期設定

をタップし DMSS を起動します。

アプリの通知を、”許可しない or 許可”を選択して、右にスライドしていきます。



”＞”マークをタップ、”確認”をタップし、国または地域で、”Japan”を選択し”終了”をタップします。



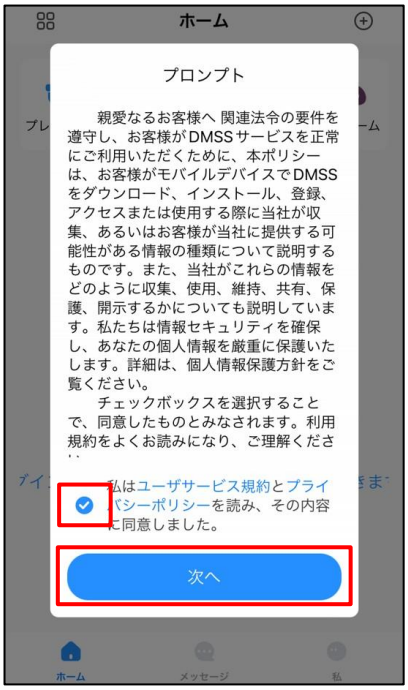
4．2．DMSSのユーザー設定（推奨）

ユーザー設定をしなくても、アプリを使用することができます。複数の方がアプリで監視する場合と、デバイス追加を簡単に行いたい場合は、下記の通り”ユーザー設定のスキップ”を推奨します。

ログイン画面右上の“スキップ”をクリックし、”同意”して”次へ”をクリックし、”スキップ”をクリックします。これで完了です。

→4．4．に飛びます

※スキップが表示されない場合はアプリ再起動してください

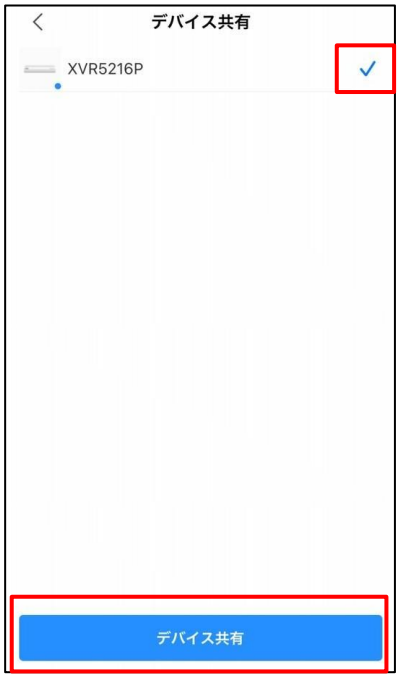


4．3．※ユーザーの追加を招待制にする場合

＊親ユーザーを作成し、ユーザーの追加を招待制にする場合のみ、下記手順で新規ユーザー作成をします。

他の人を招待するとき、親アカウントの”私”の画面の”デバイス共有”から、デバイス選択し共有します。相手の DMSS アカウントの QR コード読んで招待します。

→4．4．に飛びます



4．4．DMSSのホーム画面

スキップ及び親アカウントの手続きをしたユーザーはこの画面に飛びます。

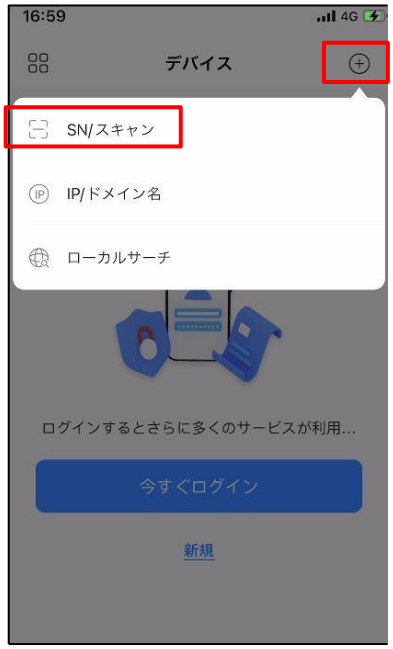
4．5．DMSSへ機器登録

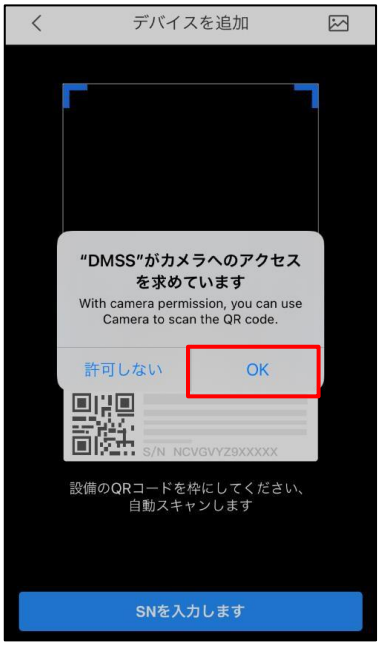
をタップし、”SN/スキャン”をタップします。登録方法は、下記の二つがあります。

：機器（カメラやレコーダー）登録

4．5．1．QR コードをスキャンして登録

DMSS のカメラアクセスを許可し、レコーダー又はカメラの“デバイス SN”の QR コードをスキャンします。





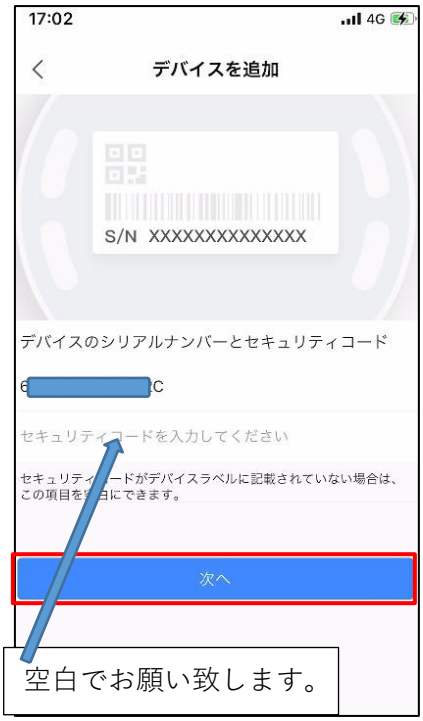
・セキュリティコードには何も入力せず“次へ”をタップします。

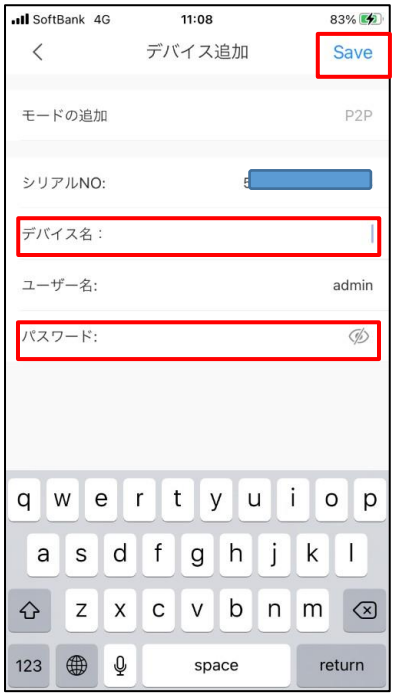
・登録する機器のアイコンを選択します。

NVR を登録する場合は NVR。XVR を登録する場合は DVR/XVR をタップしてください。

カメラを登録する場合は有線カメラをタップしてください。

・デバイス名(ユーザー任意。例.「1F Camera」)とデバイスのパスワードを入力し、”Save”をクリックします。





Wi-Fi がない場合でも自動再生します”を選択し、”続き”をクリックします（設定は任意）。次の画面で、スライドすると、レコーダーのライブ映像の画面になります。本手順書では、レコーダーに 2 台のカメラを接続しています。これで、機器の登録が完了です。左上の”<”でホーム画面に戻ります。

4．5．2．SN を入力して登録

“SN を入力します”をタップし、登録する機器の SN を入力します。

・セキュリティコードは何も入力せず“次へ”をタップします。

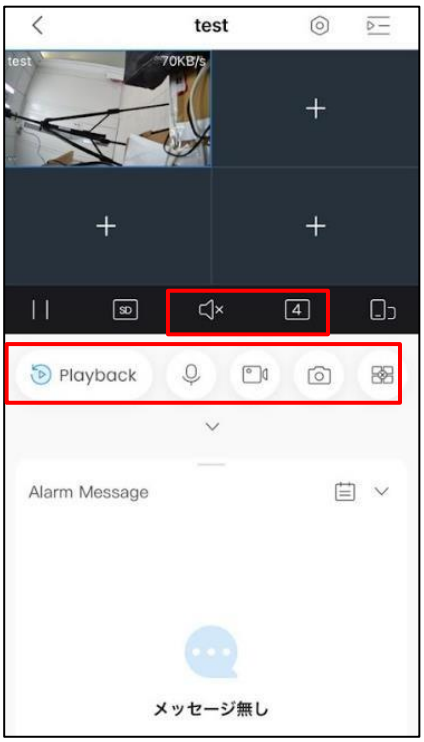
レコーダーを登録する場合は NVR か DVR/XVR をタップしてください。

カメラを登録する場合は有線カメラをタップしてください。

・デバイス名(ユーザーが決めます。例「１Ｆ Camera」など)と機器のパスワードを入力し、”Save”をクリックします。

4．6．ライブ再生

ホーム画面に追加した機器が表示されます。”▷”をタップすると、レコーダーのライブ再生が表示されます。



音🡆再生（マイク付きカ メラなどの場合）

画面分割

録画再生

スナップショット

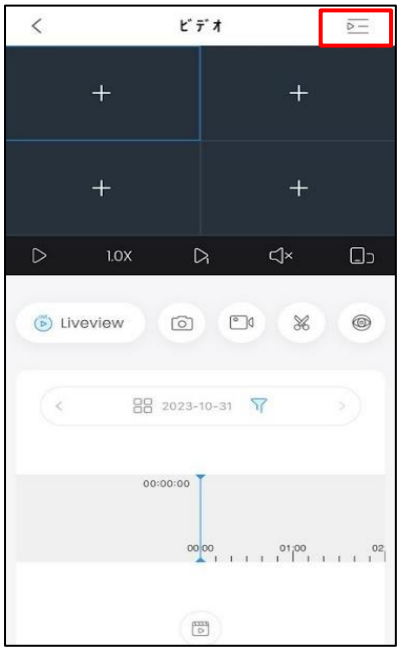
通話（機器にスピーカーがある場合）

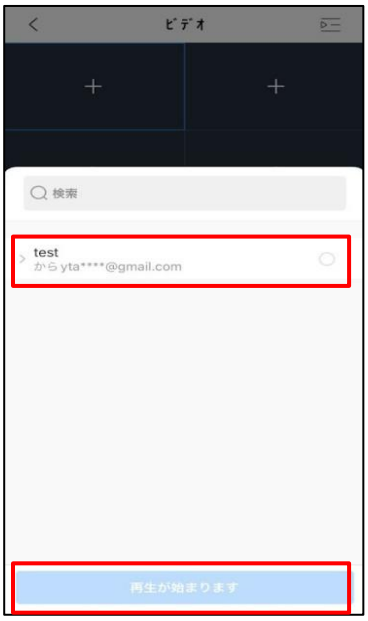
スマホに動画保存

再生の停止

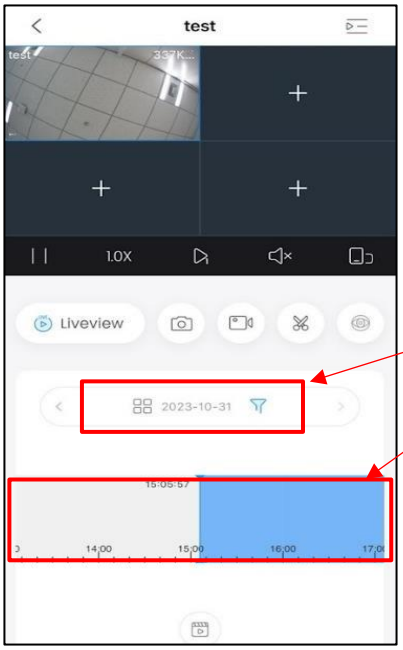
4．7．録画再生

カメラ／レコーダーの録画を画再生することができます。本手順書では、レコーダーの録画再生の手順を説明します。ホーム画面から、”ビデオ”をタップし、”右上のマーク”をタップし、再生する端末を選択します。





レコーダーのカメラが表示されるので、再生したいカメラを選択し、”再生が始まります”をタップすると、録画再生が始まります。※再生するカメラ数が多いと、スマートフォンに負荷がかかるのでご注意ください。



日付変更

タイムバー
タップして左右に移動して、再生の開始時間を変更できます。

５．動体検知のアラーム設定

カメラが動体検知をしたとき、DMSS アプリで通知を受ける設定を説明します。例として、NVR を使用します。

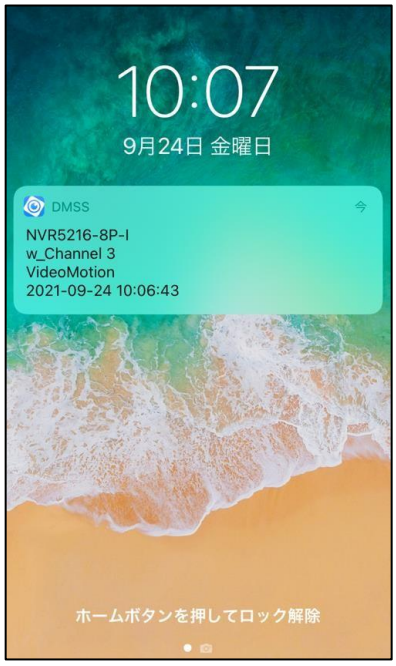
5．1．アラームの設定

初めに、スマートフォンの DMSS アプリの通知を有効にしてください。

iPhone の場合、下記のアイコンをタップします。

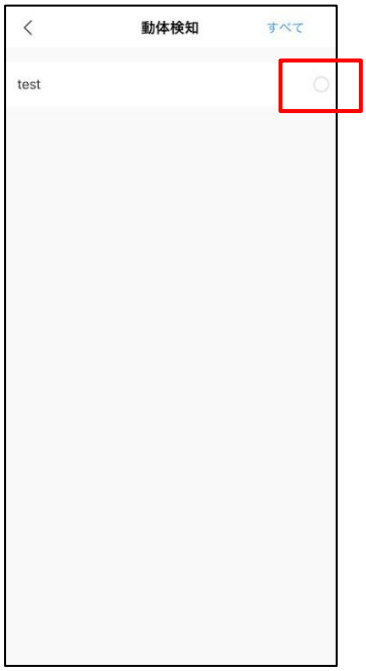
通知方法は任意で決めてください。

次ページからの設定をすれば、下記のように通知がきます。



DMSS アプリのホーム画面から、“>”をタップし、次に”◎”をタップし、”アラームを申し込む”をタップします。

赤枠をタップして有効にすると、各種アラームの項目が表示されます。”動体検知”をタップし“Save”をタップします。



TiOC カメラの AI（人物か車両の検知）のアラームは下記を選択します。

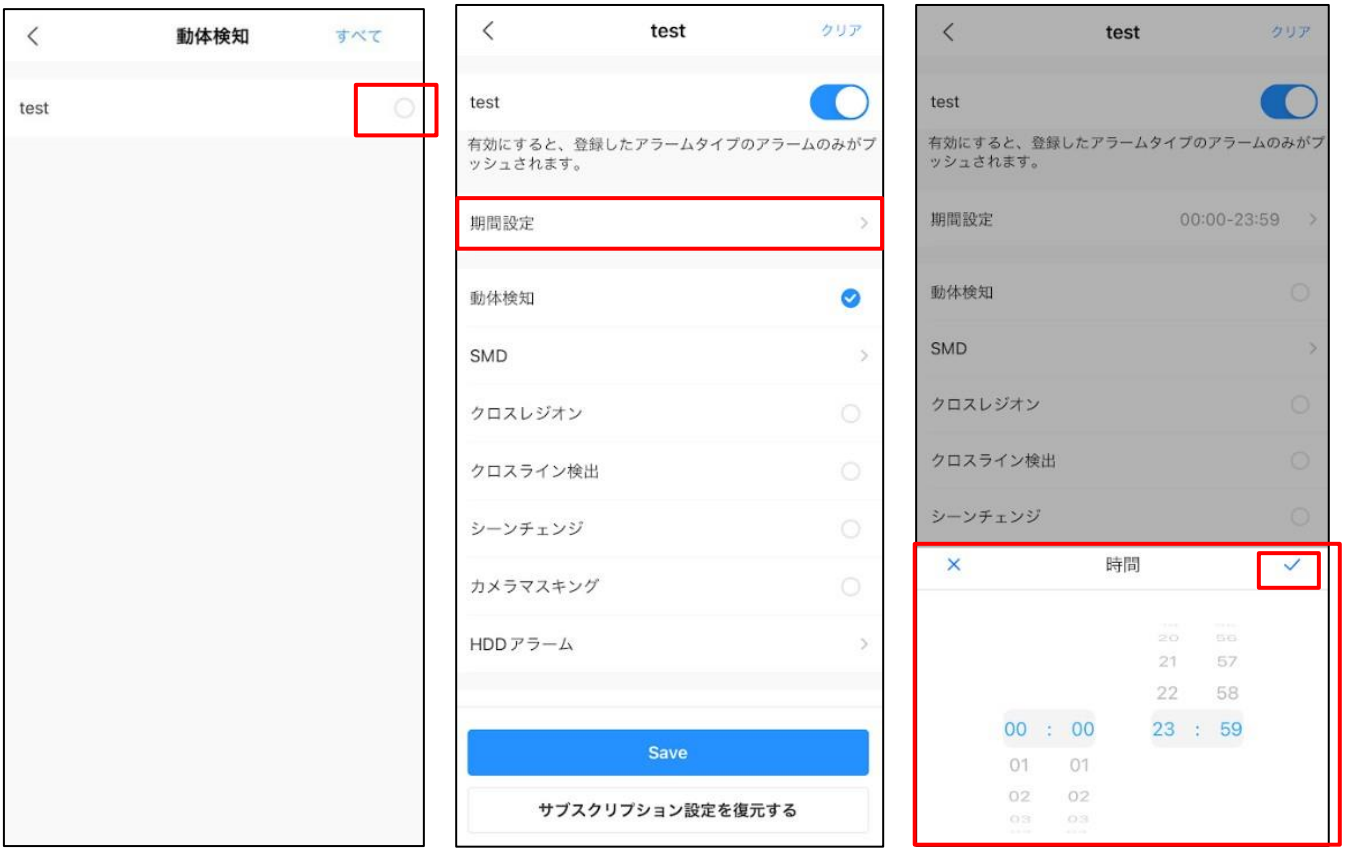
クロスレジオン（エリア検出）
クロスライン検出（トリップワイヤ）

５．２．期間設定について

赤枠をタップして有効にすると、“期間設定“の項目が表示されます。”期間設定”をタップしアラームを通知させたい時間をスクロールして選びます。

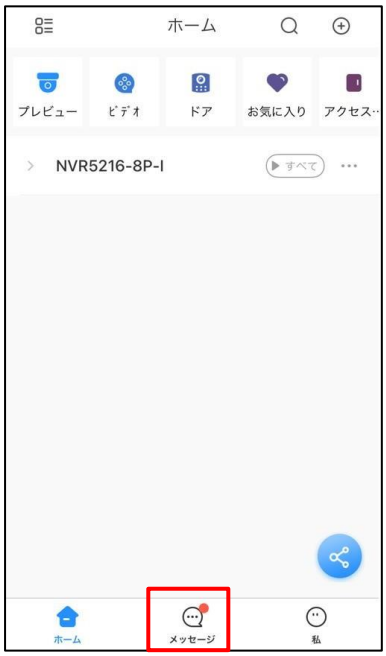
時間を合わせたら“✓“をタップして保存します。

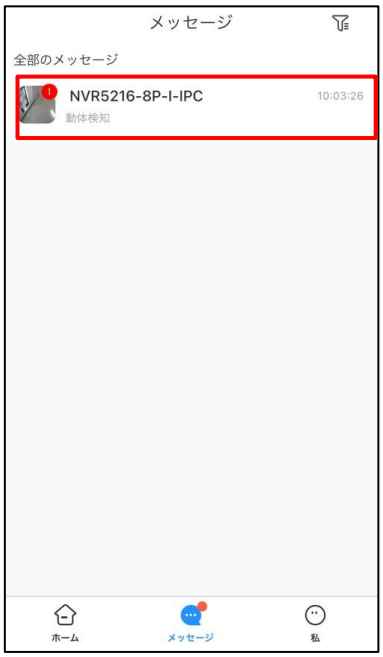
※機器によっては対応していない機種もあります。



5．3．通知をアプリで確認

ホーム画面の”メッセージ”をタップすると、動体検知のアラーム通知が表示されるのでタップしてください。



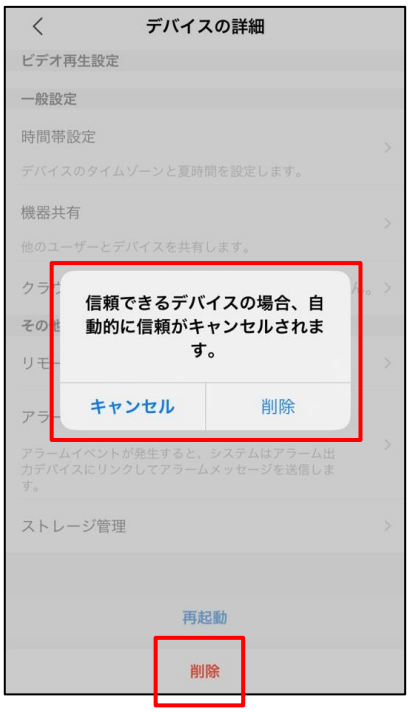


動体検知の動画が自動で再生されます。

6．登録したデバイスの削除

アプリに登録したデバイスを削除します。親アカウントの人がデバイスを削除すると、アカウント管理が解除されます。

登録したデバイスの“…”をタップし、”デバイスの詳細”をタップし、画面を下にスライドして”削除”します。



以上

SmartPSS Liteとは

- 従来のSmartPSSの開発終了に伴い、提供開始した最新版のCCTV監視用ソフトウェアです。
- 従来のSmartPSSと比べ、機能がシンプルになりました。
- 発展的なCCTV監視用ソフトウェアが必要な場合はDSSシリーズをご活用下さい。

◆SmartPSS Lite日本語版の提供については弊社営業or技術社員までお問い合わせください。

SmartPSS Lite 要求スペック(仕様は変更されることがあります)	
OS	Windows 8,10,11(64bit)
CPU	Intel Core i5-6500 @ 3.2GHz以上
RAM/ROM	8GB以上/256GB以上
解像度	1280x800以上
登録可能デバイス数	64
カメラチャンネル数	64
最大分割表示数	64

SmartPSS Liteの画面

①ソリューション切替
- CCTV
- アクセスコントローラ(ACC)
- ACCによる出退勤管理

②CCTVのライブ映像

③CCTVの録画映像再生
※DVR内HDDやIPC内SD録画データ

④デバイス情報画面

⑤ログ検索画面(システム/機器)

⑥イベント設定
(アラームを受信しポップアップ表示)
・サーマル非対応

SmartPSS Liteの画面(デバイス)

①:デバイスの追加、削除、バックアップ
②:デバイスリスト、デバイス情報、状態
③:デバイスの操作(編集/設定/手動ログイン・ログアウト/削除)

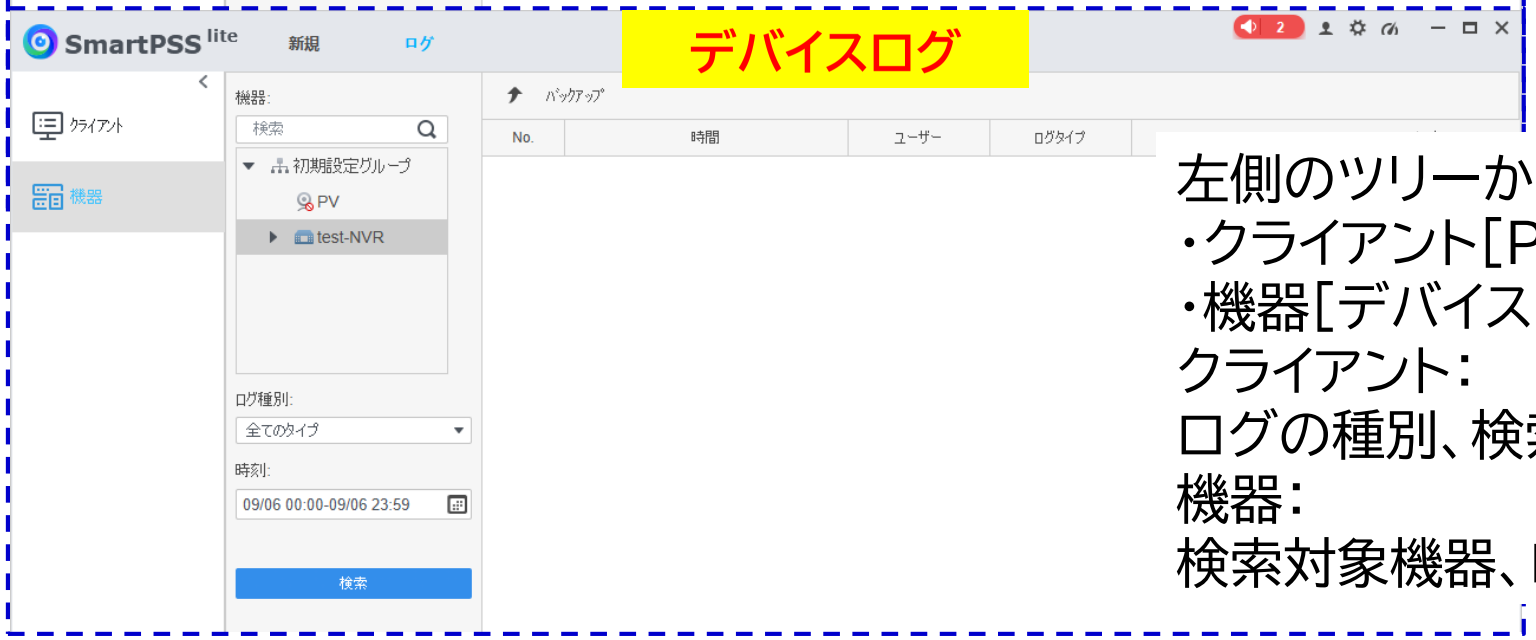
SmartPSS Liteの操作(デバイス追加)

①:追加クリック
②:IP/SN+ID、PW、チャンネル名(任意)を入力
③:追加or追加と続行をクリック

SmartPSS Liteの操作(デバイス設定)

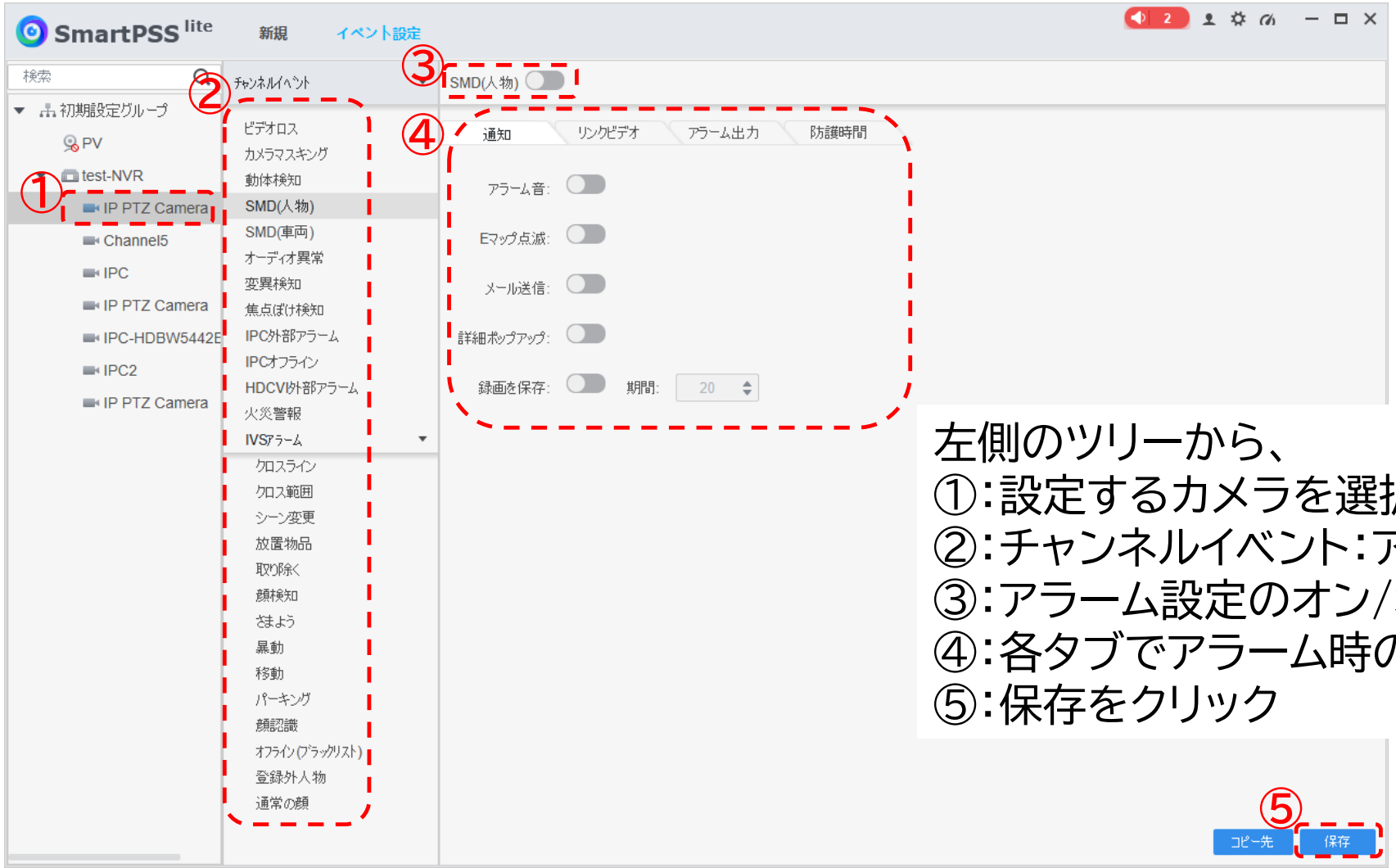
デバイスのオンラインステータスが、●オンラインの必要があります。
対象デバイスの操作[⚙]をクリックすると、ブラウザが起動し、WEBログイン画面が表示されます。
※P2P接続の場合、接続の度にURLが変わります。ご注意ください。

SmartPSS Liteの操作(ログ)



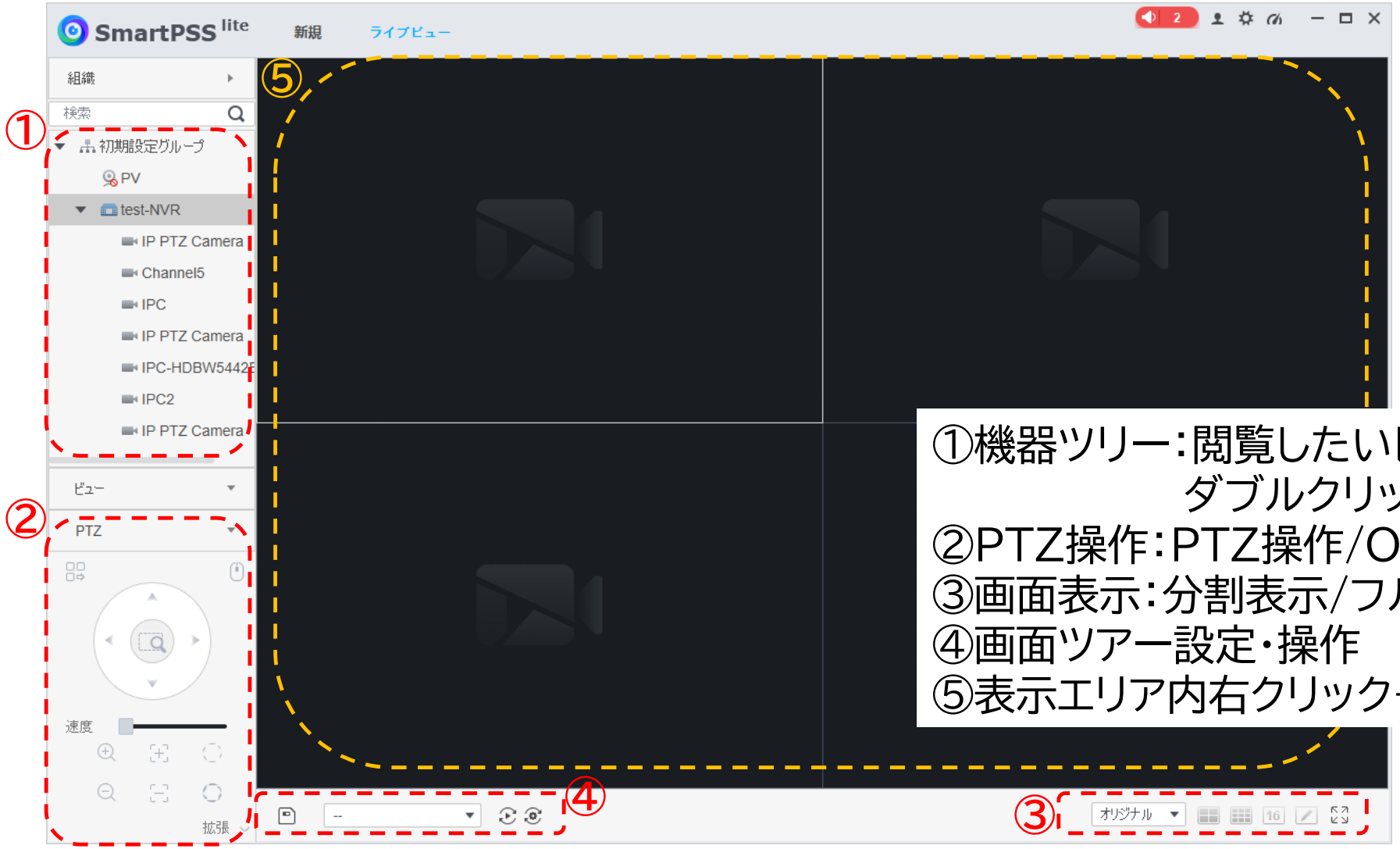
左側のツリーから、検索対象を選択
・クライアント[PC]
・機器[デバイス]
クライアント:
ログの種別、検索期間指定し検索
機器:
検索対象機器、ログ種別、検索期間を指定し検索

SmartPSS Liteの操作(イベント設定)



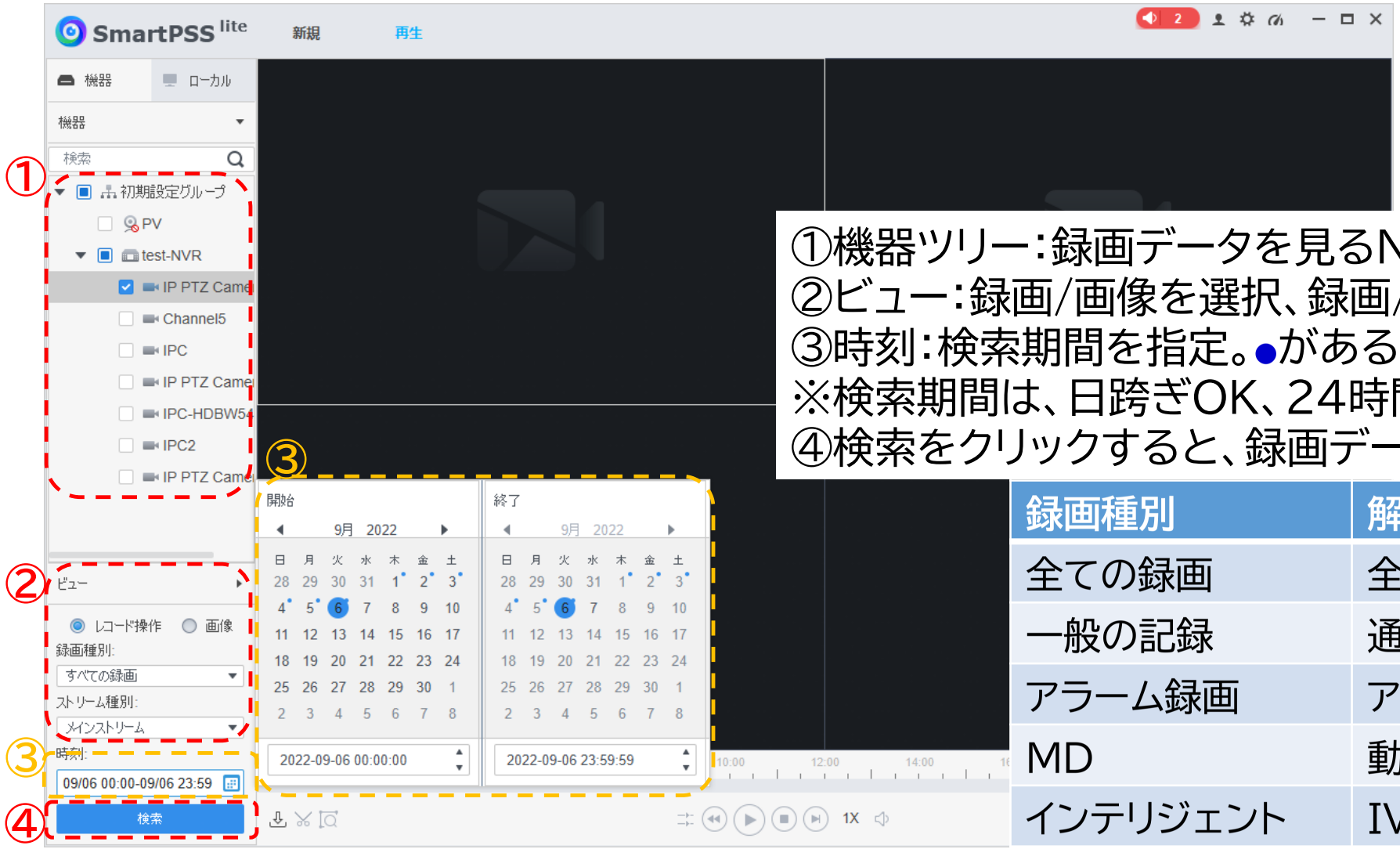
左側のツリーから、
①:設定するカメラを選択
②:チャンネルイベント:アラームするイベントを選択
③:アラーム設定のオン/オフ
④:各タブでアラーム時の動作を指定(複数可)
⑤:保存をクリック

SmartPSS Liteの操作(ライブビュー)



①機器ツリー:閲覧したいレコーダー/カメラを
ダブルクリックで表示
②PTZ操作:PTZ操作/OSD対象機器操作可能
③画面表示:分割表示/フルスクリーン設定可
④画面ツアー設定・操作
⑤表示エリア内右クリック→サブメニュー表示

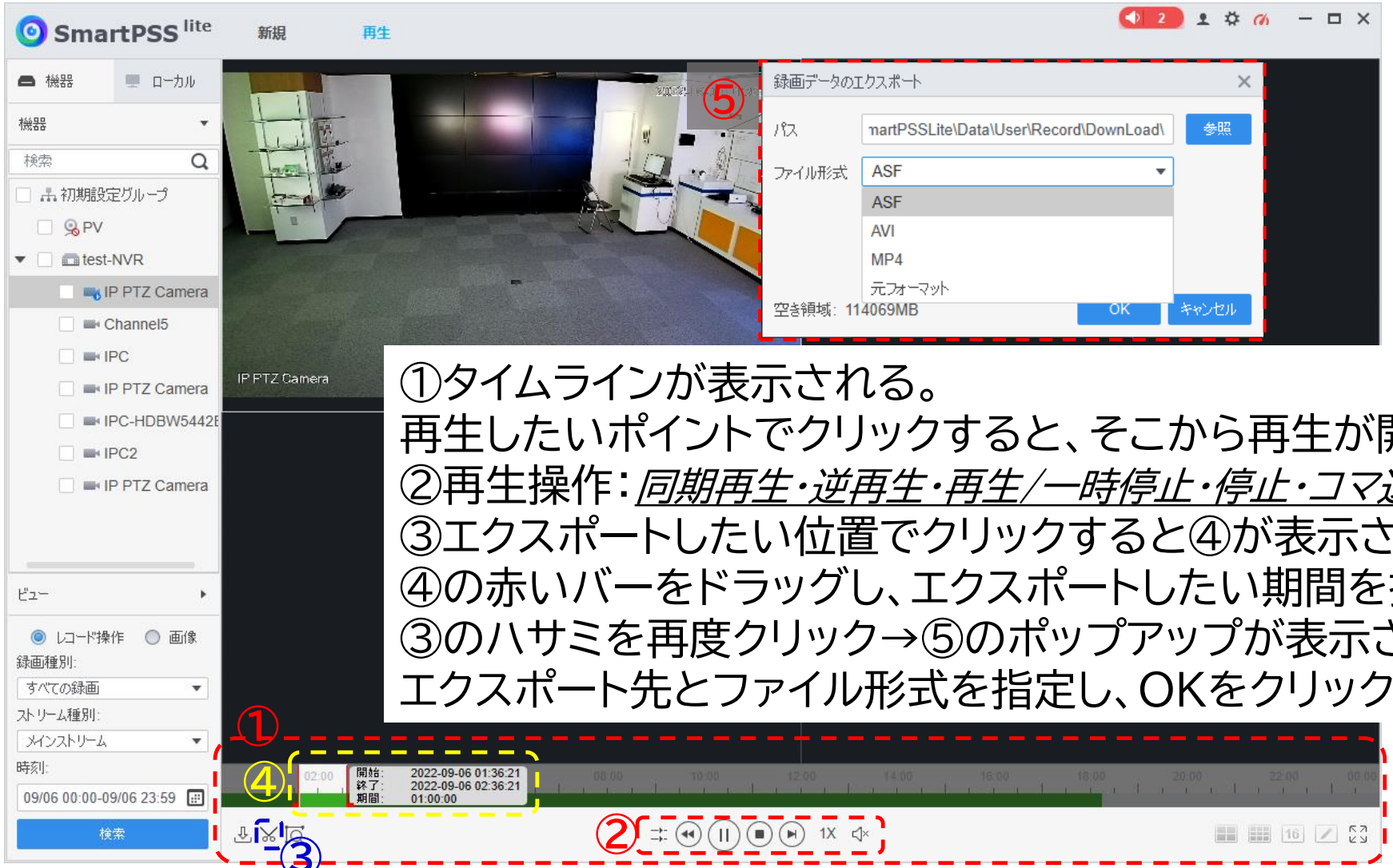
SmartPSS Liteの操作(再生-検索)



①機器ツリー:録画データを見るNVR/IPCを選択
②ビュー:録画/画像を選択、録画/ストリーム種別を指定
③時刻:検索期間を指定。●がある日が録画が残っている日
※検索期間は、日跨ぎOK、24時間以内
④検索をクリックすると、録画データが検索される。

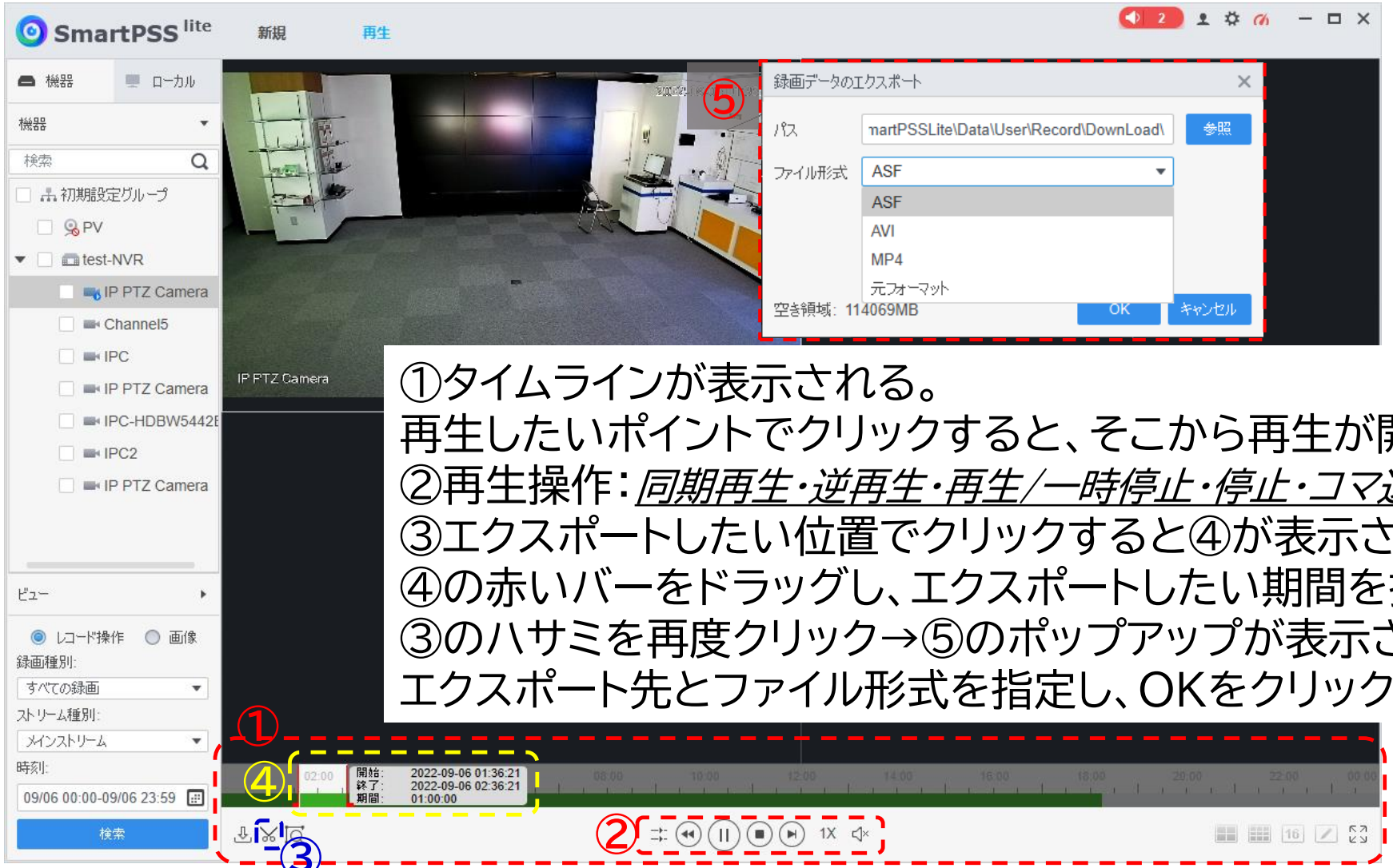
録画種別	解説
全ての録画	全ての録画データ
一般の記録	通常録画
アラーム録画	アラーム録画
MD	動体検知録画
インテリジェント	IVSなどのｲﾝﾃﾘｼﾞｪﾝﾄ録画

SmartPSS Liteの操作(再生＋エクスポート)



①タイムラインが表示される。
再生したいポイントでクリックすると、そこから再生が開始される。
②再生操作：*同期再生・逆再生・再生/一時停止・停止・コマ送り・再生速度変更・音量変更*
③エクスポートしたい位置でクリックすると④が表示される
④の赤いバーをドラッグし、エクスポートしたい期間を指定し、
③のハサミを再度クリック→⑤のポップアップが表示される。
エクスポート先とファイル形式を指定し、OKをクリック→エクスポート開始。

SmartPSS Liteの操作(再生＋エクスポート)



①タイムラインが表示される。
再生したいポイントでクリックすると、そこから再生が開始される。
②再生操作：*同期再生・逆再生・再生/一時停止・停止・コマ送り・再生速度変更・音量変更*
③エクスポートしたい位置でクリックすると④が表示される
④の赤いバーをドラッグし、エクスポートしたい期間を指定し、
③のハサミを再度クリック→⑤のポップアップが表示される。
エクスポート先とファイル形式を指定し、OKをクリック→エクスポート開始。